別記様式第２号（その１の１）

基　本　計　画　書

基　本　計　画		
事　項	記　入　欄	備　考
計画の区分	大学院の収容定員に係る学則変更	
フリガナ 設置者	ｶﾞｯｺｳﾎｳｼﾞﾝ ﾘｯｼｮｳﾀﾞｲｶﾞｸｶﾞｸｴﾝ 学校法人　立正大学学園	
フリガナ 大学の名称	ﾘｯｼｮｳﾀﾞｲｶﾞｸﾀﾞｲｶﾞｸｲﾝ 立正大学大学院　(Rissho University Graduate School)	
大学本部の位置	東京都品川区大崎4丁目2番16号	
大学の目的	本大学院は、教育基本法および学校教育法の定めるところに従い、学部における一般的ならびに専門的教養の基礎のうえに、高度にして専門的な学術の理論および応用を教授・研究し、以って文化の進展と人類の福祉に寄与することを目的とする。	
新設学部等の目的	現在、基礎となる心理学部は、臨床心理学科、対人・社会心理学科の2学科で構成されている。これに対して、大学院心理学研究科は、臨床心理学専攻、応用心理学専攻、対人・社会心理学専攻の3専攻で構成されている。上記状況に対し、今後の在り方について検討を行った結果、今後も応用心理学専攻への受験者・入学者の増加は見込めないことと、学部2学科・研究科2専攻体制に再編することが、教育研究組織としての学部との不整合を解消することにつながることから、応用心理学専攻の学生を募集停止し、収容定員の変更を行う。なお、今回の学生募集停止に伴う応用心理学専攻の収容定員変更（減少）分については、応用心理学専攻に在籍する学生の修了後に、臨床心理学専攻への収容定員増加として改めて届出を行う予定である。	

新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地	
		年	人	年次 人	人				
	心理学研究科 応用心理学専攻	2	0 (5)	― (―)	0 (10)	修士（心理学）	令和6年4月 第1年次	東京都品川区大崎4丁目2番16号	※令和6年度より学生募集停止
	計								

同一設置者内における変更状況（定員の移行，名称の変更等）	―	

教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数	
		講義	演習	実験・実習	計		
		科目	科目	科目	科目	単位	

教員組織の概要		学部等の名称	専任教員等						兼任教員等
			教授	准教授	講師	助教	計	助手	
	新設分	心理学研究科 応用心理学専攻（修士課程）	2人 (2)	1人 (1)	2人 (2)	0人 (0)	5人 (5)	0人 (0)	22人 (22)
		計	2 (2)	1 (1)	2 (2)	0 (0)	5 (5)	0 (0)	― (―)
	既設分	文学研究科 仏教学専攻（修士課程）	9 (9)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	9 (9)	0 (0)	12 (12)
		英米文学専攻（修士課程）	5 (5)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	7 (7)	0 (0)	4 (4)
		社会学専攻（修士課程）	8 (8)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	9 (9)	0 (0)	2 (2)
		史学専攻（修士課程）	6 (6)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	8 (8)	0 (0)	10 (10)
		国文学専攻（修士課程）	6 (6)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	7 (7)	0 (0)	2 (2)
		哲学専攻（修士課程）	6 (6)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	8 (8)	0 (0)	0 (0)
		仏教学専攻（博士後期課程）	9 (9)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	9 (9)	0 (0)	12 (12)
		英米文学専攻（博士後期課程）	5 (5)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	7 (7)	0 (0)	4 (4)

教員組織の概要									
既設分	社会学専攻（博士後期課程）	8 (8)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	9 (9)	0 (0)	0 (0)	
	史学専攻（博士後期課程）	6 (6)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	8 (8)	0 (0)	11 (11)	
	国文学専攻（博士後期課程）	6 (6)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	7 (7)	0 (0)	0 (0)	
	哲学専攻（博士後期課程）	6 (6)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	8 (8)	0 (0)	0 (0)	
	経済学研究科 経済学専攻（修士課程）	16 (16)	11 (11)	2 (2)	0 (0)	29 (29)	0 (0)	10 (10)	
	経済学専攻（博士後期課程）	16 (16)	5 (5)	0 (0)	0 (0)	21 (21)	0 (0)	8 (8)	
	法学研究科 法学専攻（修士課程）	21 (21)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	25 (25)	0 (0)	13 (13)	
	経営学研究科 経営学専攻（修士課程）	17 (17)	5 (5)	0 (0)	0 (0)	22 (22)	0 (0)	7 (7)	
	社会福祉学研究科 社会福祉学専攻（修士課程）	11 (11)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	15 (15)	0 (0)	2 (2)	
	教育福祉学専攻（修士課程）	7 (7)	5 (5)	0 (0)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	1 (1)	
	社会福祉学専攻（博士後期課程）	12 (12)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	0 (0)	
	地球環境科学研究科 環境システム学専攻（修士課程）	10 (10)	4 (4)	1 (1)	4 (4)	19 (19)	0 (0)	1 (1)	
	地理空間システム学専攻（修士課程）	6 (6)	5 (5)	1 (1)	1 (1)	13 (13)	0 (0)	1 (1)	
	環境システム学専攻（博士後期課程）	10 (10)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	0 (0)	
	地理空間システム学専攻（博士後期課程）	6 (6)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	8 (8)	0 (0)	0 (0)	
	心理学研究科 臨床心理学専攻（修士課程）	8 (8)	5 (5)	0 (0)	0 (0)	13 (13)	0 (0)	6 (6)	
	対人・社会心理学専攻（修士課程）	8 (8)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	3 (3)	
	心理学専攻（博士後期課程）	11 (11)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	11 (11)	0 (0)	0 (0)	
	計	239 (239)	69 (69)	5 (5)	5 (5)	318 (318)	0 (0)	ー (ー)	
合計		241 (241)	70 (70)	7 (7)	5 (5)	323 (323)	0 (0)	ー (ー)	

教員以外の職員の概要	職種	専任	兼任	計	
	事務職員	221 人 (209)	6 人 (3)	227 人 (212)	
	技術職員	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	図書館専門職員	10 (10)	0 (0)	10 (10)	
	その他の職員	0 (0)	4 (4)	4 (4)	
	計	231 (219)	10 (7)	241 (226)	

校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	
	校舎敷地	184,692.46 ㎡	0.00 ㎡	0.00 ㎡	184,692.46 ㎡	大学全体
	運動場用地	118,887.00 ㎡	0.00 ㎡	0.00 ㎡	118,887.00 ㎡	
	小計	303,579.46 ㎡	0.00 ㎡	0.00 ㎡	303,579.46 ㎡	
	その他	72,396.84 ㎡	0.00 ㎡	0.00 ㎡	72,396.84 ㎡	
	合計	375,976.30 ㎡	0.00 ㎡	0.00 ㎡	375,976.30 ㎡	

校舎	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	
	100,360.40 ㎡ (100,360.40 ㎡)	0.00 ㎡ (0.00 ㎡)	0.00 ㎡ (0.00 ㎡)	100,360.40 ㎡ (100,360.40 ㎡)	大学全体

教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	
	室	室	室	室 （補助職員　人）	室 （補助職員　人）	

専任教員研究室	新設学部等の名称	室数
		室

図書・設備	新設学部等の名称	図書〔うち外国書〕	学術雑誌〔うち外国書〕	電子ジャーナル〔うち外国書〕	視聴覚資料	機械・器具	標本
		冊	種		点	点	点
		〔 〕	〔 〕	〔 〕			
		(〔 〕)	(〔 〕)	(〔 〕)	( )	( )	( )
	計	〔 〕	〔 〕	〔 〕			
		(〔 〕)	(〔 〕)	(〔 〕)	( )	( )	( )

図書館	面積	閲覧座席数	収納可能冊数
	㎡		

体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要
	㎡	

経費の見積り及び維持方法の概要

経費の見積り	区分	開設前年度	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
	教員１人当り研究費等		100千円	100千円	－ 千円	－ 千円	－ 千円	－ 千円
	共同研究費等		1,773千円	1,773千円	－ 千円	－ 千円	－ 千円	－ 千円
	図書購入費	50千円	50千円	50千円	－ 千円	－ 千円	－ 千円	－ 千円
	設備購入費	100千円	100千円	100千円	－ 千円	－ 千円	－ 千円	－ 千円

学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
	1,033千円	783千円	－ 千円	－ 千円	－ 千円	－ 千円

学生納付金以外の維持方法の概要	私立大学等経常費補助金、資産運用収入、寄付金等

教員１人当り研究費等は、研究科毎に異なるため、心理学研究科研究費を記載
図書購入費には電子ジャーナル・データベースの整備費（運用コスト含む）を含む。

既設大学等の状況

大学の名称	立正大学							
学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
	年	人	年次人	人		倍		
仏教学部						0.89		東京都品川区大崎
宗学科	4	50	—	200	学士（仏教学）	0.89	昭和24年度	4丁目2番16号
仏教学科	4	55	—	220	学士（仏教学）	0.90	昭和24年度	
文学部						0.95		同上
哲学科	4	95	—	380	学士（哲学）	1.02	昭和24年度	
史学科	4	155	—	620	学士（史学）	0.94	昭和24年度	
社会学科	4	155	—	620	学士（社会学）	0.93	昭和24年度	
文学科	4	155	—	620	学士（文学）	0.93	平成14年度	
経済学部						0.99		同上
経済学科	4	400	—	1600	学士（経済学）	0.99	昭和25年度	
経営学部						1.00		同上
経営学科	4	330	—	1320	学士（経営学）	1.00	昭和42年度	
法学部						0.99		同上
法学科	4	340	—	1360	学士（法学）	0.99	昭和56年度	
社会福祉学部						0.87		埼玉県熊谷市大字
社会福祉学科	4	175	—	700	学士（社会福祉学）	0.88	平成8年度	万吉字鹿島1700番地
子ども教育福祉学科	4	100	—	400	学士（人間福祉学）	0.85	平成8年度	
地球環境科学部						0.75		同上
環境システム学科	4	115	—	460	学士（理学）	0.77	平成10年度	
地理学科	4	115	—	460	学士（地理学）	0.74	平成10年度	
心理学部						1.01		東京都品川区大崎
臨床心理学科	4	170	—	680	学士（心理学）	1.02	平成14年度	4丁目2番16号
対人・社会心理学科	4	115	—	460	学士（心理学）	1.00	平成23年度	
データサイエンス学部						0.84		埼玉県熊谷市大字
データサイエンス学科	4	240	—	720	学士（データサイエンス学）	0.84	令和3年度	万吉字鹿島1700番地

大学の名称	立正大学大学院								
学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
文学研究科								東京都品川区大崎4丁目2番16号	
修士課程						0.46			
仏教学専攻	2	10	—	20	修士（文学）	0.40	昭和26年度		
英米文学専攻	2	10	—	20	修士（文学）	0.25	昭和40年度		
社会学専攻	2	10	—	20	修士（社会学）	0.45	昭和26年度		
史学専攻	2	10	—	20	修士（文学）	0.95	昭和44年度		
国文学専攻	2	10	—	20	修士（文学）	0.05	昭和26年度		
哲学専攻	2	6	—	12	修士（文学）	0.83	昭和42年度		
博士後期課程						0.41			
仏教学専攻	3	3	—	9	博士（文学）	0.66	昭和31年度		
英米文学専攻	3	2	—	6	博士（文学）	0.50	昭和40年度		
社会学専攻	3	2	—	6	博士（社会学）	0.16	昭和43年度		
史学専攻	3	4	—	12	博士（文学）	0.50	昭和52年度		
国文学専攻	3	3	—	9	博士（文学）	0.00	平成4年度		
哲学専攻	3	3	—	9	博士（文学）	0.55	平成7年度		
経済学研究科								同上	
修士課程						1.10			
経済学専攻	2	10	—	20	修士（経済学）	1.10	昭和63年度		
博士後期課程						0.55			
経済学専攻	3	6	—	18	博士（経済学）	0.55	平成6年度		
法学研究科								東京都品川区大崎4丁目2番16号	
修士課程						0.55			
法学専攻	2	10	—	20	修士（法学）	0.55	平成6年度		
経営学研究科								同上	
修士課程						0.60			
経営学専攻	2	10	—	20	修士（経営学）	0.60	平成10年度		
社会福祉学研究科								埼玉県熊谷市大字万吉字鹿島1700番地	
修士課程						0.50			
社会福祉学専攻	2	6	—	12	修士（社会福祉学）	0.66	平成12年度		
教育福祉学専攻	2	4	—	8	修士（教育福祉学）	0.25	平成28年度		
博士後期課程						0.33			
社会福祉学専攻	3	3	—	9	博士（社会福祉学）	0.33	平成20年度		
地球環境科学研究科								同上	
修士課程						0.30			
環境システム学専攻	2	10	—	20	修士（理学）	0.40	平成12年度		
地理空間システム学専攻	2	8	—	16	修士（地理学）	0.18	平成12年度		
博士後期課程						0.33			
環境システム学専攻	3	4	—	12	博士（理学）	0.41	平成12年度		
地理空間システム学専攻	3	3	—	9	博士（地理学）	0.22	平成12年度		
心理学研究科								東京都品川区大崎4丁目2番16号	
修士課程						0.85			
臨床心理学専攻	2	10	—	20	修士（心理学）	0.95	平成16年度		
応用心理学専攻	2	5	—	10	修士（心理学）	0.70			※令和6年度より学生募集停止
対人・社会心理学専攻	2	5	—	10	修士（心理学）	0.80	平成24年度		
博士後期課程						0.41			
心理学専攻	3	4	—	12	博士（心理学）	0.41	平成16年度		

既設大学等の状況

附属施設の概要	名　　称：立正大学博物館 目　　的：歴史・宗教・芸術・民族・自然史に関する学術的資料を収集・保管し、これを組織的に 展示し、広く社会に公開するとともに、これらの調査研究を行うことによって大学における教育・研究の発展に寄与することを目的とする。 所　在　地：埼玉県熊谷市大字万吉字鹿島1700番地 設置年月　：平成14年4月 規　模　等：376.80㎡	

（注）

1　共同学科等の認可の申請及び届出の場合，「計画の区分」，「新設学部等の目的」，「新設学部等の概要」，「教育課程」及び「教員組織の概要」の「新設分」の欄に記入せず，斜線を引くこと。

2　「教員組織の概要」の「既設分」については，共同学科等に係る数を除いたものとすること。

3　私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科又は高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は，「教育課程」，「教室等」，「専任教員研究室」，「図書・設備」，「図書館」及び「体育館」の欄に記入せず，斜線を引くこと。

4　大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は，「教育課程」，「校地等」，「校舎」，「教室等」，「専任教員研究室」，「図書・設備」，「図書館」，「体育館」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず，斜線を引くこと。

5　「教育課程」の欄の「実験・実習」には，実技も含むこと。

6　空欄には，「－」又は「該当なし」と記入すること。

補足資料

学校法人 立正大学学園　設置認可等に関わる組織の移行表

令和５年度	入学定員	編入学定員	収容定員
立正大学			
仏教学部			
宗学科	50	—	200
仏教学科	55	—	220
文学部			
哲学科	95	—	380
史学科	155	—	620
社会学科	155	—	620
文学科	155	—	620
経済学部			
経済学科	400	—	1600
経営学部			
経営学科	330	—	1320
法学部			
法学科	340	—	1360
社会福祉学部			
社会福祉学科	175	—	700
子ども教育福祉学科	100	—	400
地球環境科学部			
環境システム学科	115	—	460
地理学科	115	—	460
心理学部			
臨床心理学科	170	—	680
対人・社会心理学科	115	—	460
データサイエンス学部			
データサイエンス学科	240	—	960
計	2765		11060
立正大学大学院			
文学研究科			
仏教学専攻（M）	10	—	20
英米文学専攻（M）	10	—	20
社会学専攻（M）	10	—	20
史学専攻（M）	10	—	20
国文学専攻（M）	10	—	20
哲学専攻（M）	6	—	12
仏教学専攻（D）	3	—	9
英米文学専攻（D）	2	—	6
社会学専攻（D）	2	—	6
史学専攻（D）	4	—	12
国文学専攻（D）	3	—	9
哲学専攻（D）	3	—	9
経済学研究科			
経済学専攻（M）	10	—	20
経済学専攻（D）	6	—	18
法学研究科			
修士課程			
法学専攻（M）	10	—	20
経営学研究科			
経営学専攻（M）	10	—	20
社会福祉学研究科			
社会福祉学専攻（M）	6	—	12
教育福祉学専攻（M）	4	—	8
社会福祉学専攻（D）	3	—	9
地球環境科学研究科			
環境システム学専攻（M）	10	—	20
地理空間システム学専攻（M）	8	—	16
環境システム学専攻（D）	4	—	12
地理空間システム学専攻（D）	3	—	9
心理学研究科			
臨床心理学専攻（M）	10	—	20
応用心理学専攻（M）	5	—	10
対人・社会心理学専攻（M）	5	—	10
心理学専攻（D）	4	—	12
計	171		379

令和６年度	入学定員	編入学定員	収容定員	変更の事由
立正大学				
仏教学部				
宗学科	50	—	200	
仏教学科	55	—	220	
文学部				
哲学科	95	—	380	
史学科	155	—	620	
社会学科	155	—	620	
文学科	155	—	620	
経済学部				
経済学科	400	—	1600	
経営学部				
経営学科	330	—	1320	
法学部				
法学科	340	—	1360	
社会福祉学部				
社会福祉学科	175	—	700	
子ども教育福祉学科	100	—	400	
地球環境科学部				
環境システム学科	115	—	460	
地理学科	115	—	460	
心理学部				
臨床心理学科	170	—	680	
対人・社会心理学科	115	—	460	
データサイエンス学部				
データサイエンス学科	240	—	960	
計	2765		11060	
立正大学大学院				
文学研究科				
仏教学専攻（M）	10	—	20	
英米文学専攻（M）	10	—	20	
社会学専攻（M）	10	—	20	
史学専攻（M）	10	—	20	
国文学専攻（M）	10	—	20	
哲学専攻（M）	6	—	12	
仏教学専攻（D）	3	—	9	
英米文学専攻（D）	2	—	6	
社会学専攻（D）	2	—	6	
史学専攻（D）	4	—	12	
国文学専攻（D）	3	—	9	
哲学専攻（D）	3	—	9	
経済学研究科				
経済学専攻（M）	10	—	20	
経済学専攻（D）	6	—	18	
法学研究科				
修士課程				
法学専攻（M）	10	—	20	
経営学研究科				
経営学専攻（M）	10	—	20	
社会福祉学研究科				
社会福祉学専攻（M）	6	—	12	
教育福祉学専攻（M）	4	—	8	
社会福祉学専攻（D）	3	—	9	
地球環境科学研究科				
環境システム学専攻（M）	10	—	20	
地理空間システム学専攻（M）	8	—	16	
環境システム学専攻（D）	4	—	12	
地理空間システム学専攻（D）	3	—	9	
心理学研究科				
臨床心理学専攻（M）	10	—	20	
応用心理学専攻（M）	0	—	0	令和6年4月学生募集停止
対人・社会心理学専攻（M）	5	—	10	
心理学専攻（D）	4	—	12	
計	166		369	

都県内における位置関係のわかる図面

：立正大学：品川キャンパス（東京都品川区大崎 4 丁目 2 番 16 号）

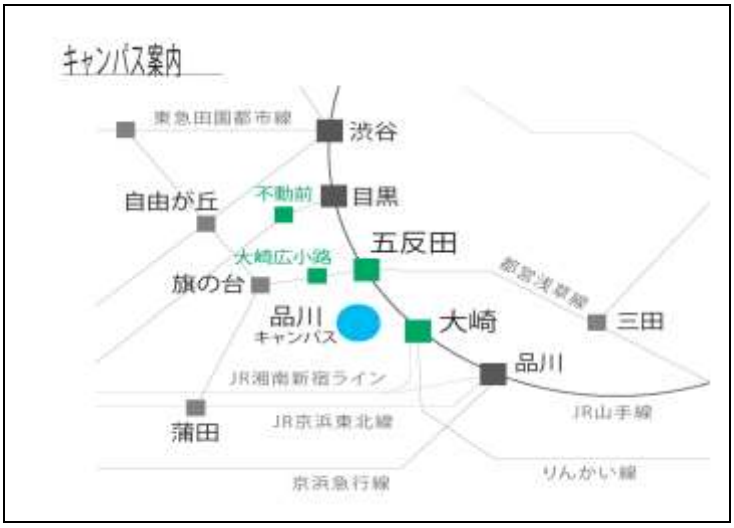
：立正大学：熊谷キャンパス（埼玉県熊谷市万吉字鹿島 1700 番地）

出典：国土地理院　地理院地図（電子国土 Web、情報リスト：白地図）

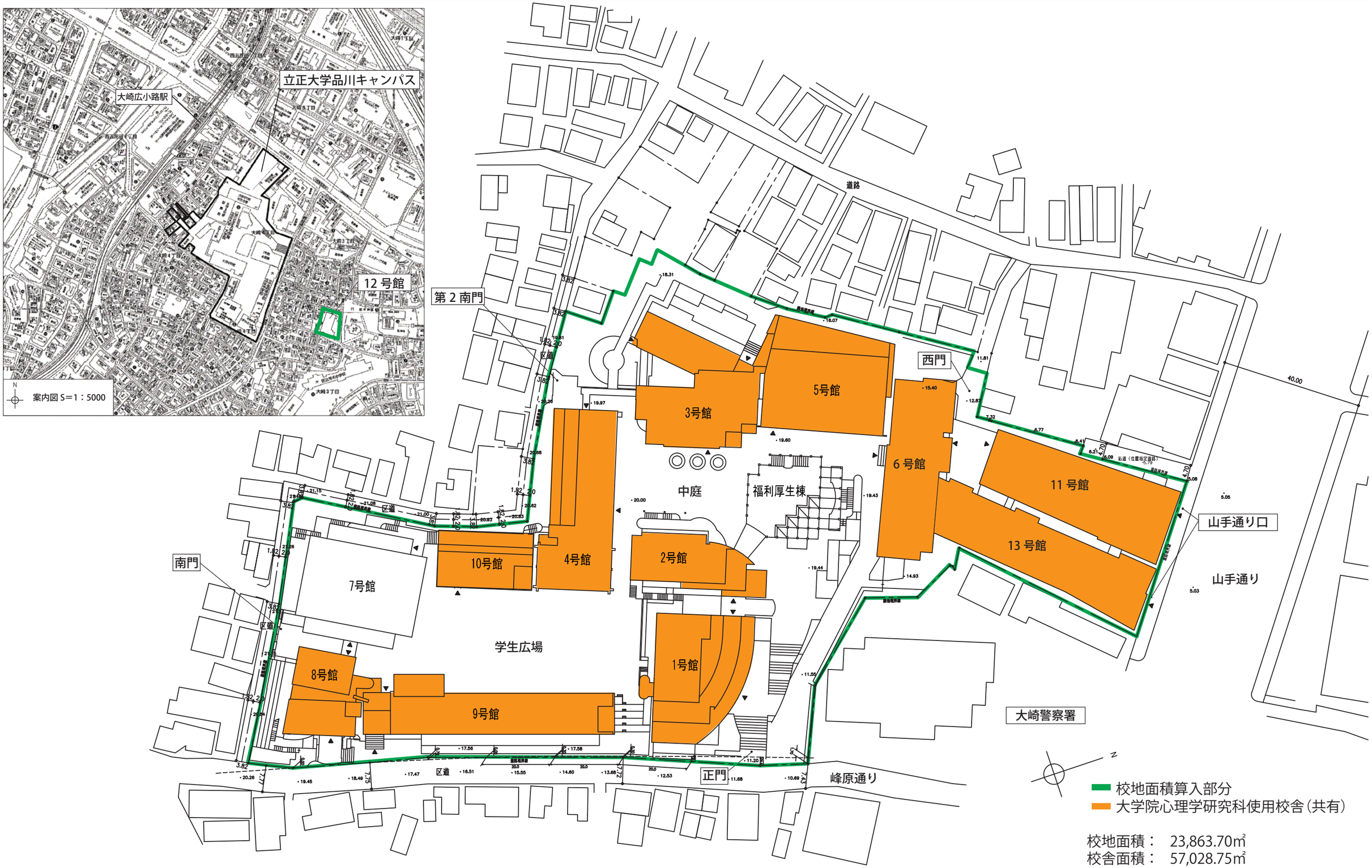
最寄り駅からの距離が分かる図面

五反田駅・大崎駅から徒歩約 5 分、大崎広小路駅から徒歩 1 分
（五反田駅から 500m、大崎駅から 400m、大崎広小路駅から 100m）

交通機関がわかる図面



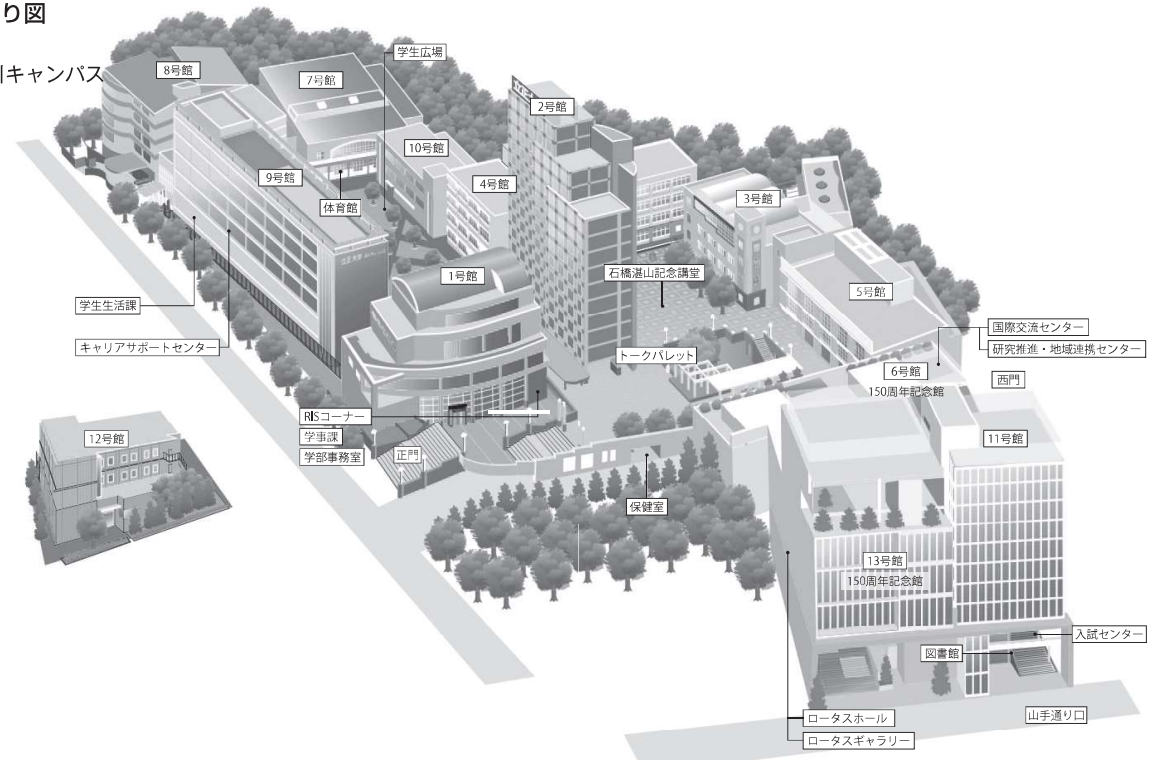
〇五反田駅（JR 山手線／都営地下鉄浅草線）徒歩
〇大崎駅（JR 山手線・湘南新宿ライン・埼京線／東京臨海高速鉄道りんかい線）徒歩
〇大崎広小路駅（東急池上線）徒歩



立正大学品川キャンパス		配置図　1/1000

配置図・見取り図

■建物配置図　品川キャンパス



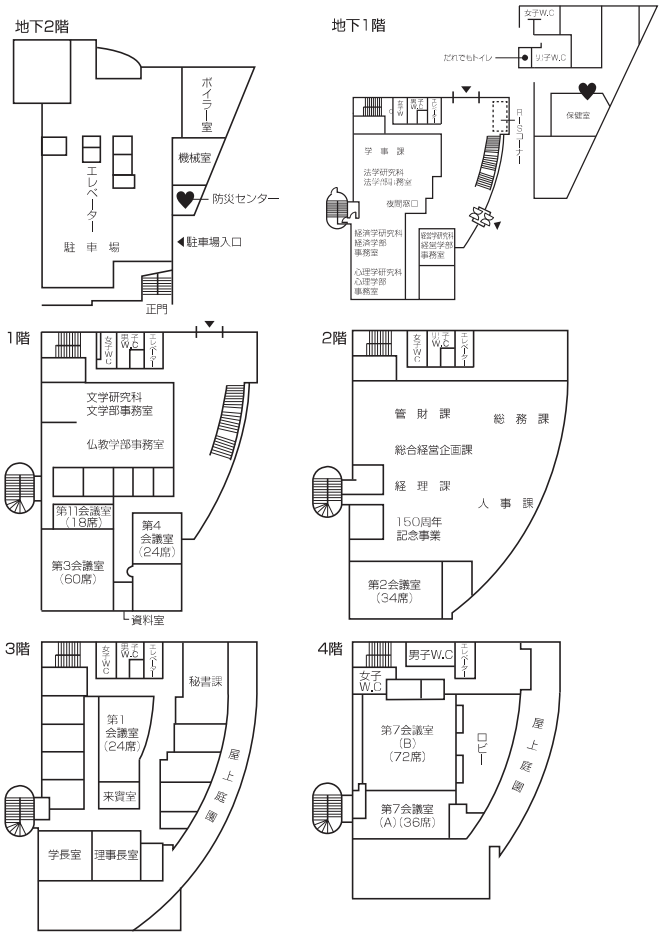
所在地　〒141-8602　東京都品川区大崎４－２－16

■校内見取り図　品川キャンパス

1　号　館　（品川）

（本部棟）

表記について（　）：収容人数
固　：机・椅子固定
♥　：AED設置場所
◀　：出入口



2　号　館　（品川）

（研究棟）

表記について　◀　：出入口
♥　：AED設置場所

２号館（品川）

1階	１０４号室	25.40㎡
	１０５号室	51.90㎡
	１０６号室	52.26㎡
2階	２０１号室	18.52㎡
	２０２号室	18.53㎡
	２０３号室	18.52㎡
	２０４号室	18.53㎡
	205・206号室	38.10㎡
	207・208号室	38.10㎡
	２０９号室	18.00㎡
	２１０号室	18.00㎡
	２１１号室	21.04㎡
	２１２号室	21.04㎡
	213・214号室	36.00㎡
	２１５号室	18.00㎡
	２１６号室	18.00㎡
	２１７号室	19.05㎡
	２１８号室	19.05㎡
3階	３０１号室	20.10㎡
	３０２号室	18.00㎡
	３０３号室	18.00㎡
	３０４号室	18.00㎡
	３０５号室	18.00㎡
	３０６号室	20.10㎡
	３０７号室	19.05㎡
	３０８号室	19.05㎡
	３０９号室	18.00㎡
	３１０号室	18.00㎡
	３１１号室	21.04㎡
	３１２号室	21.04㎡
	３１３号室	18.00㎡
	３１４号室	18.00㎡
	３１５号室	18.00㎡
	３１６号室	18.00㎡
	３１７号室	19.05㎡
	３１８号室	19.05㎡
4階	４０１号室	20.10㎡
	４０２号室	18.00㎡
	４０３号室	18.00㎡
	４０４号室	18.00㎡
	４０５号室	19.05㎡
	４０６号室	19.05㎡
	４０７号室	20.10㎡
	４０８号室	18.00㎡
	４０９号室	18.00㎡
	４１０号室	18.00㎡
	４１１号室	21.04㎡
	４１２号室	21.04㎡
	４１３号室	18.00㎡
	４１４号室	18.00㎡
	４１５号室	18.00㎡
	４１６号室	18.00㎡
	４１７号室	18.00㎡
	４１８号室	20.10㎡

5階	５０１号室	20.10㎡
	５０２号室	18.00㎡
	５０３号室	18.00㎡
	５０４号室	18.00㎡
	５０５号室	18.00㎡
	５０６号室	20.10㎡
	５０７号室	20.10㎡
	５０８号室	18.00㎡
	５０９号室	18.00㎡
	５１０号室	18.00㎡
	５１１号室	21.04㎡
	５１２号室	21.04㎡
	５１３号室	18.00㎡
	５１４号室	18.00㎡
	５１５号室	18.00㎡
	５１６号室	18.00㎡
	５１７号室	18.00㎡
	５１８号室	20.10㎡
6階	６０１号室	20.10㎡
	６０２号室	18.00㎡
	６０３号室	18.00㎡
	６０４号室	18.00㎡
	６０５号室	18.00㎡
	６０６号室	20.10㎡
	６０７号室	20.10㎡
	６０８号室	18.00㎡
	６０９号室	18.00㎡
	６１０号室	18.00㎡
	６１１号室	21.04㎡
	６１２号室	21.04㎡
	６１３号室	18.00㎡
	６１４号室	18.00㎡
	６１５号室	18.00㎡
	６１６号室	18.70㎡
	６１７号室	18.70㎡
	６１８号室	18.70㎡
7階	７０１号室	19.05㎡
	７０２号室	19.05㎡
	７０３号室	18.00㎡
	７０４号室	18.00㎡
	７０５号室	18.00㎡
	７０６号室	20.10㎡
	７０７号室	20.10㎡
	７０８号室	18.00㎡
	７０９号室	18.00㎡
	７１０号室	18.00㎡
	711・712号室	42.08㎡
	７１３号室	18.00㎡
	７１４号室	18.00㎡
	７１５号室	18.00㎡
	７１６号室	18.00㎡
	７１７号室	18.00㎡
	７１８号室	20.10㎡

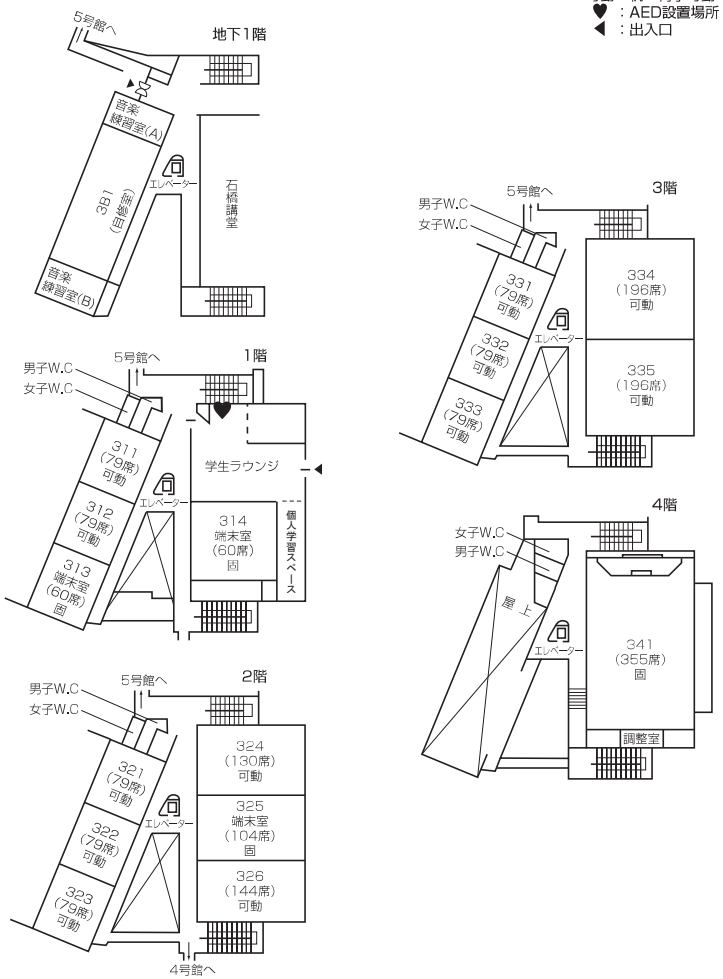
8階	８０１号室	20.10㎡
	８０２号室	18.00㎡
	８０３号室	18.00㎡
	８０４号室	18.00㎡
	８０５号室	18.00㎡
	８０６号室	20.10㎡
	８０７号室	20.10㎡
	８０８号室	18.00㎡
	８０９号室	18.00㎡
	８１０号室	18.00㎡
	８１１号室	21.04㎡
	８１２号室	21.04㎡
	813・814号室	36.00㎡
	８１５号室	18.00㎡
	８１６号室	18.00㎡
	817・818号室	38.10㎡
9階	９０１号室	20.10㎡
	９０２号室	18.00㎡
	９０３号室	18.00㎡
	９０４号室	18.00㎡
	９０５号室	18.00㎡
	９０６号室	20.10㎡
	９０７号室	20.10㎡
	９０８号室	18.00㎡
	９０９号室	18.00㎡
	９１０号室	18.00㎡
	９１１号室	21.04㎡
	９１２号室	21.04㎡
	９１３号室	18.00㎡
	９１４号室	18.00㎡
	９１５号室	18.00㎡
	９１６号室	18.00㎡
	９１７号室	18.00㎡
	９１８号室	20.10㎡
10階	１００１号室	20.10㎡
	１００２号室	18.00㎡
	１００３号室	18.00㎡
	１００４号室	18.00㎡
	１００５号室	18.00㎡
	１００６号室	20.10㎡
	１００７号室	20.10㎡
	１００８号室	18.00㎡
	１００９号室	18.00㎡
	１０１０号室	18.00㎡
	１０１１号室	21.04㎡
	１０１２号室	21.04㎡
	１０１３号室	18.00㎡
	１０１４号室	18.00㎡
	１０１５号室	18.00㎡
	１０１６号室	18.00㎡
	１０１７号室	18.00㎡
	１０１８号室	20.10㎡

11階	１１０１号室	20.10㎡
	１１０２号室	18.00㎡
	１１０３号室	18.00㎡
	１１０４号室	18.00㎡
	１１０５号室	18.00㎡
	１１０６号室	20.10㎡
	１１０７号室	20.10㎡
	１１０８号室	18.00㎡
	１１０９号室	18.00㎡
	１１１０号室	18.00㎡
	１１１１号室	21.04㎡
	１１１２号室	21.04㎡
	１１１３号室	18.00㎡
	１１１４号室	18.00㎡
	１１１５号室	14.22㎡
	１１１６号室	20.10㎡
12階	１２０１号室	20.10㎡
	１２０２号室	18.00㎡
	１２０３号室	18.00㎡
	１２０４号室	18.00㎡
	1205・1206号室	38.10㎡
	１２０７号室	20.10㎡
	１２０８号室	18.00㎡
	１２０９号室	18.00㎡
	１２１０号室	18.00㎡
	１２１１号室	21.04㎡
	１２１２号室	21.04㎡

心理学研究科専用部分	18.00㎡
心理学部・研究科専用部分	631.14㎡
他学部・研究科専用部分	2,913.66㎡

３ 号 館 （品川）

表記について（ ）：収容人数
固 ：机・椅子固定
可動：机・椅子可動
♥ ：AED設置場所
◀ ：出入口



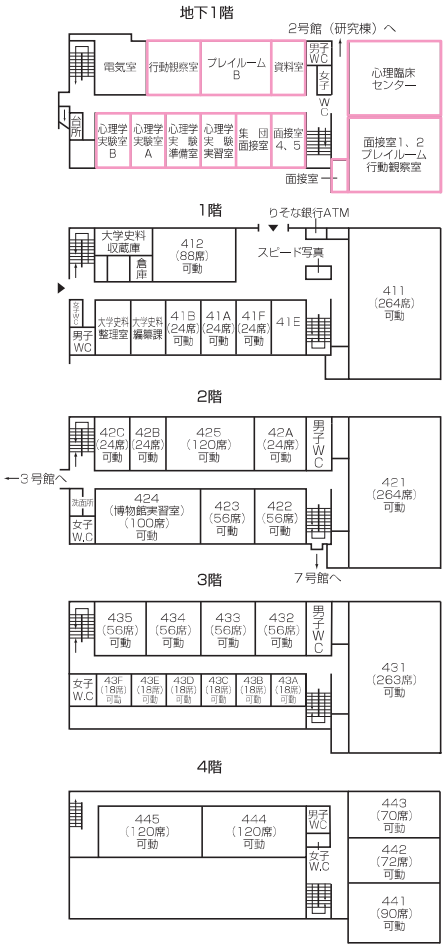
３号館（品川）

B1階	３Ｂ１教室（自習室）	158.60㎡
1階	個人学習スペース	35.70㎡
	３１１教室	83.90㎡
	３１２教室	81.80㎡
	３１３教室	83.90㎡
	３１４教室	155.70㎡
2階	３２１教室	83.90㎡
	３２２教室	81.80㎡
	３２３教室	83.90㎡
	３２４教室	132.70㎡
	３２５教室	129.20㎡
	３２６教室	132.70㎡
3階	３３１教室	83.90㎡
	３３２教室	81.80㎡
	３３３教室	83.90㎡
	３３４教室	197.30㎡
	３３５教室	197.30㎡
4階	３４１教室	393.80㎡

	他学部・研究科と共用部分（１～３号館計）	13,406.02㎡

４ 号 館 （品川）

表記について（ ）：収容人数
固 ：机・椅子固定
可動：机・椅子可動
◀ ：出入口



４号館（品川）

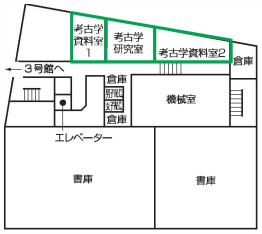
B1階	行動観察室	36.40㎡
	プレイルーム　B	80.52㎡
	資料室	41.58㎡
	心理学実験室　B	38.28㎡
	心理学実験室　A	38.28㎡
	心理学実験準備室	38.28㎡
	心理学実験実習室	36.63㎡
	集団面接室	38.94㎡
	面接室１・２、プレイルームＡ、行動観察室	98.16㎡
	面接室３	17.31㎡
	面接室４・５	35.62㎡
	心理臨床センター	104.73㎡
1階	４１２　教室	86.50㎡
	４１Ａ　ゼミ室	40.59㎡
	４１Ｂ　ゼミ室	38.94㎡
	４１Ｅ　ゼミ室	38.94㎡
	４１Ｆ　ゼミ室	38.94㎡
	４１１　教室	237.60㎡
2階	４２Ａ　ゼミ室	36.75㎡
	４２Ｂ　ゼミ室	35.35㎡
	４２Ｃ　ゼミ室	37.50㎡
	４２１　教室	237.60㎡
	４２２　教室	59.89㎡
	４２３　教室	59.89㎡
	４２４　教室（博物館実習室）	119.79㎡
	４２５　教室	96.54㎡
3階	４３１　教室	236.60㎡
	４３２　教室	57.42㎡
	４３３　教室	57.42㎡
	４３４　教室	57.42㎡
	４３５　教室	59.40㎡
	４３Ａ　ゼミ室	23.76㎡
	４３Ｂ　ゼミ室	23.76㎡
	４３Ｃ　ゼミ室	23.76㎡
	４３Ｄ　ゼミ室	23.76㎡
	４３Ｅ　ゼミ室	23.76㎡
	４３Ｆ　ゼミ室	23.76㎡
4階	４４１　教室	100.00㎡
	４４２　教室	68.80㎡
	４４３　教室	68.80㎡
	４４４　教室	122.10㎡
	４４５　教室	122.10㎡

	心理学部・研究科専用部分	604.73㎡
	上記を含む他学部・研究科と共用部分	3,925.30㎡

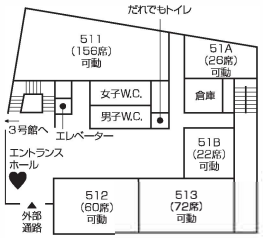
５ 号 館 （品川）

表記について（ ）：収容人数
固 ：机・椅子固定
可動：机・椅子可動
♥ ：AED設置場所
◀ ：出入口

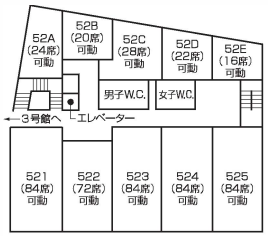
地下1階



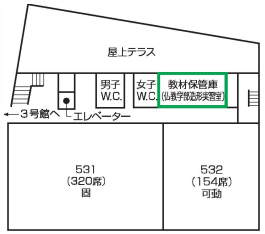
1階



2階



3階



５号館（品川）

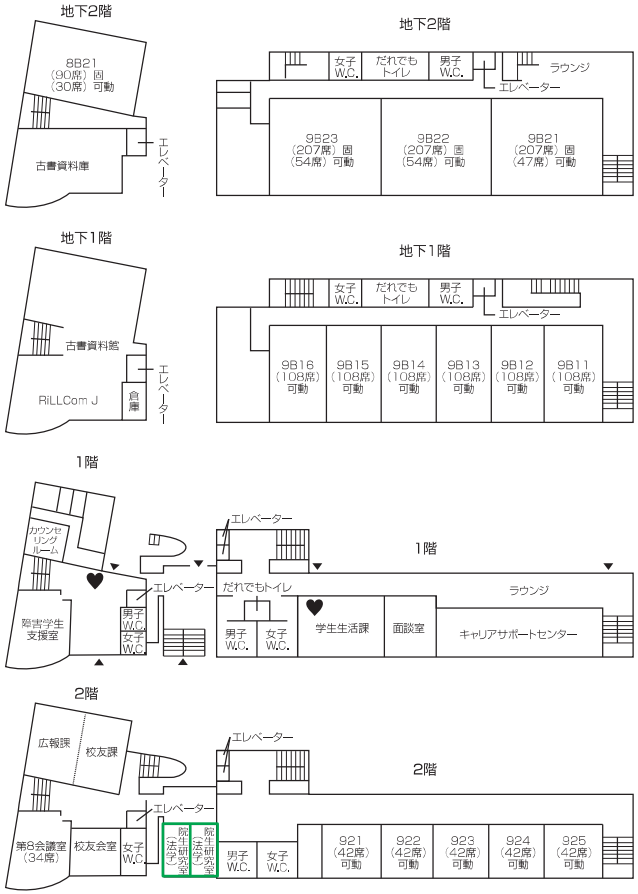
B1階	書庫	300.23㎡
	集密書架	197.26㎡
	考古学研究室	36.39㎡
	考古学資料室１	21.35㎡
	考古学資料室２	46.83㎡
1階	５１１教室	162.84㎡
	５１２教室	87.38㎡
	５１３教室	102.63㎡
	５１Ａゼミ室	49.76㎡
	５１Ｂゼミ室	49.37㎡
2階	５２１教室	100.77㎡
	５２２教室	88.52㎡
	５２３教室	103.62㎡
	５２４教室	103.62㎡
	５２５教室	100.80㎡
	５２Ａゼミ室	46.42㎡
	５２Ｂゼミ室	41.62㎡
	５２Ｃゼミ室	52.97㎡
	５２Ｄゼミ室	44.66㎡
	５２Ｅゼミ室	33.04㎡
3階	５３１教室	307.30㎡
	５３２教室	195.16㎡
	仏教学部造形実習室	40.24㎡

	他学部・研究科専用部分	144.81㎡
	上記を含む他学部・研究科と共用部分	3,787.89㎡

8 号 館 （品川）

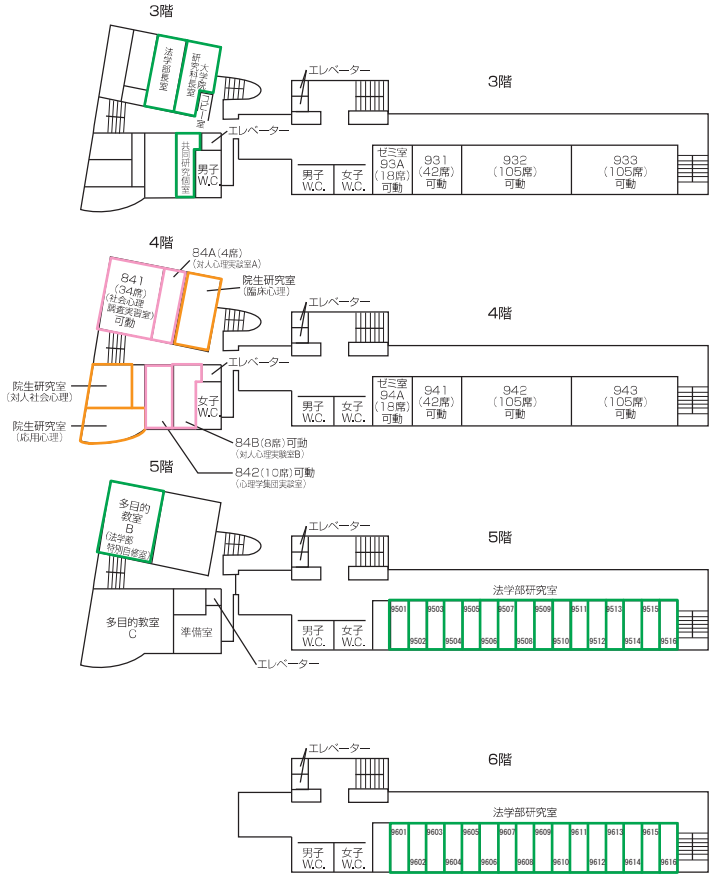
9 号 館 （品川）

表記について
（ ）：収容人数
固 ：机・椅子固定
可動：机・椅子可動
♥ ：AED設置場所
◀ ：出入口



8 号 館 （品川）

9 号 館 （品川）



８号館（品川）

B2階	８Ｂ２１教室	167.85㎡
3階	共同研究個室	22.02㎡
	法学部長室	40.70㎡
	大学院法学研究科長室	23.09㎡
4階	社会心理調査実験室	84.75㎡
	対人心理実験室Ａ	40.70㎡
	対人心理実験室Ｂ	27.49㎡
	心理学集団実験室	37.10㎡
	院生研究室（対人社会心理専攻）	43.49㎡
	院生研究室（応用心理専攻）	43.44㎡
	院生研究室（臨床心理専攻）	43.33㎡
5階	多目的教室Ｂ（法学部特別自習室）	85.56㎡
	多目的教室Ｃ	134.64㎡

	心理学研究科専用部分	130.26㎡
	心理学部・研究科専用部分	190.04㎡
	他学部・研究科専用部分	171.37㎡
	上記を含む他学部・研究科と共用部分	2,636.86㎡

９号館（品川）

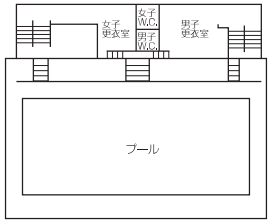
B2階	９Ｂ２１教室	230.72㎡
	９Ｂ２２教室	232.56㎡
	９Ｂ２３教室	233.98㎡
B1階	９Ｂ１１教室	109.72㎡
	９Ｂ１２教室	110.70㎡
	９Ｂ１３教室	110.70㎡
	９Ｂ１４教室	110.70㎡
	９Ｂ１５教室	110.70㎡
	９Ｂ１６教室	114.06㎡
2階	９２１教室	65.57㎡
	９２２教室	65.57㎡
	９２３教室	65.57㎡
	９２４教室	65.57㎡
	９２５教室	67.89㎡
	院生研究室（法学専攻）	32.14㎡
	院生研究室（法学専攻）	35.10㎡
3階	９３１教室	65.57㎡
	９３２教室	131.14㎡
	９３３教室	133.46㎡
	９３Ａ教室	32.78㎡
4階	９４１教室	65.57㎡
	９４２教室	131.14㎡
	９４３教室	133.46㎡
	９４Ａ教室	32.78㎡
5階	９５０１号室	22.11㎡
	９５０２号室	22.11㎡
	９５０３号室	21.95㎡
	９５０４号室	22.11㎡
	９５０５号室	22.11㎡
	９５０６号室	21.95㎡
	９５０７号室	22.11㎡
	９５０８号室	22.11㎡
	９５０９号室	21.95㎡
	９５１０号室	22.11㎡
	９５１１号室	22.11㎡
	９５１２号室	21.95㎡
	９５１３号室	22.11㎡
	９５１４号室	22.11㎡
	９５１５号室	21.95㎡
	９５１６号室	24.17㎡
6階	９６０１号室	22.11㎡
	９６０２号室	22.11㎡
	９６０３号室	21.95㎡
	９６０４号室	22.11㎡
	９６０５号室	22.11㎡
	９６０６号室	21.95㎡
	９６０７号室	22.11㎡
	９６０８号室	22.11㎡
	９６０９号室	21.95㎡
	９６１０号室	22.11㎡
	９６１１号室	22.11㎡
	９６１２号室	21.95㎡
	９６１３号室	22.11㎡
	９６１４号室	22.11㎡
	９６１５号室	21.95㎡
	９６１６号室	24.17㎡

	他学部・研究科専用部分	777.28㎡
	上記を含む他学部・研究科と共用部分	7,276.57㎡

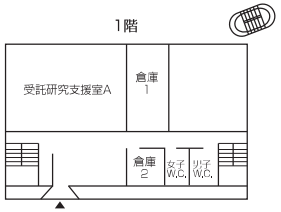
10 号 館 （品川）

表記について（ ）：収容人数
固 ：机・椅子固定
可動：机・椅子可動
♥ ：AED設置場所
◀ ：出入口

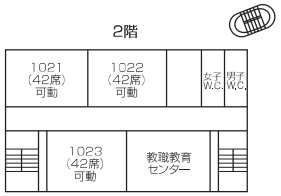
地下1階



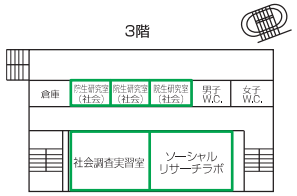
1階



2階



3階



１０号館（品川）

2階	１０２１教室	65.63㎡
	１０２２教室	62.69㎡
	１０２３教室	64.45㎡
	教職教育センター	64.45㎡
3階	社会調査実習室	64.45㎡
	ソーシャルリサーチラボ	64.45㎡
	院生研究室（社会学専攻）	13.21㎡
	院生研究室（社会学専攻）	13.21㎡
	院生研究室（社会学専攻）	13.21㎡

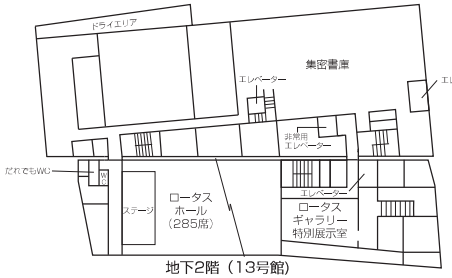
	他学部・研究科専用部分	168.53㎡
	上記を含む他学部・研究科と共用部分	913.53㎡

6・11・13号館　（品川）

図書館（11号館地下1～3階）、150周年記念館（6・13号館）

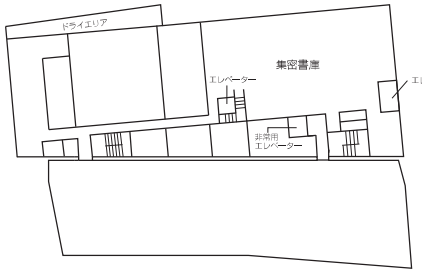
表記について
（　）：収容人数
固　：机・椅子固定
可動：机・椅子可動
♥　：AED設置場所
◀　：出入口

地下3階（11号館）

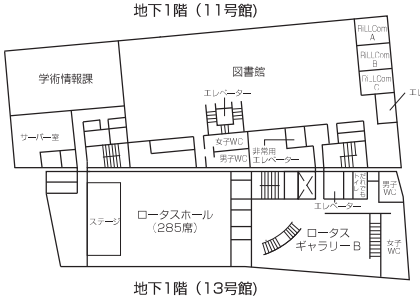


地下2階（13号館）

地下2階（11号館）

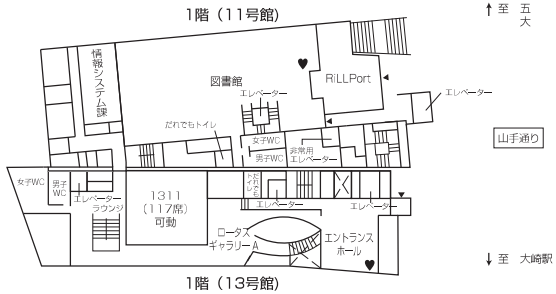


地下1階（11号館）



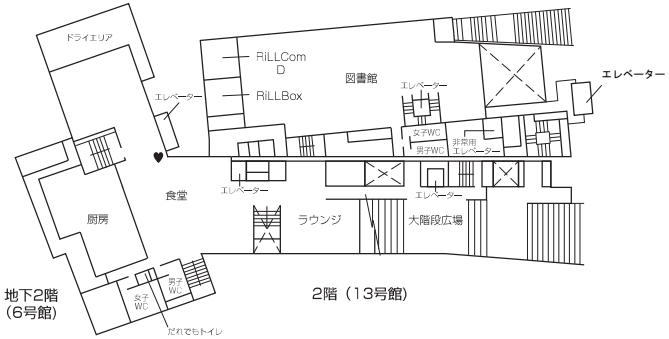
地下1階（13号館）

1階（11号館）



1階（13号館）

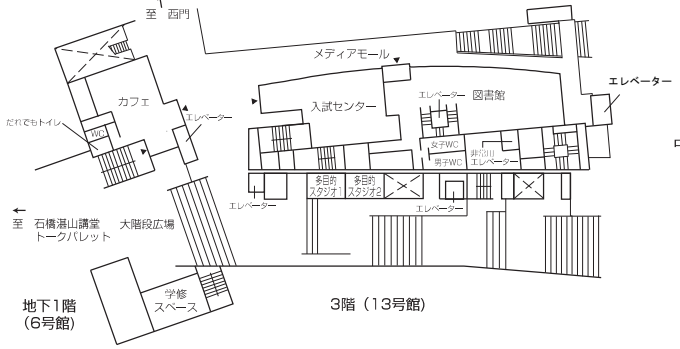
2階（11号館）



地下2階（6号館）

2階（13号館）

3階（11号館）

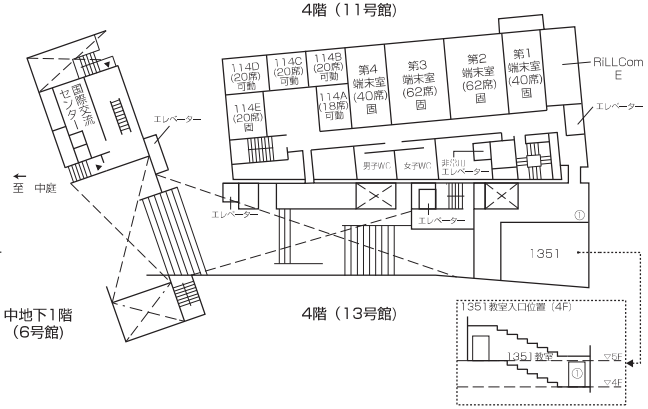


田駅
広小路駅

地下1階（6号館）

3階（13号館）

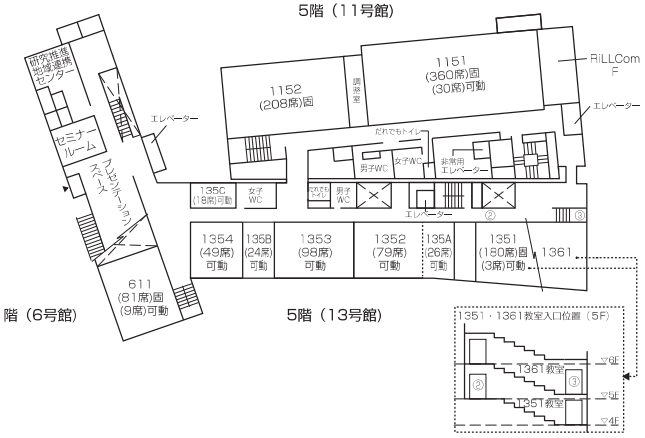
4階（11号館）



中地下1階（6号館）

4階（13号館）

5階（11号館）



1階（6号館）

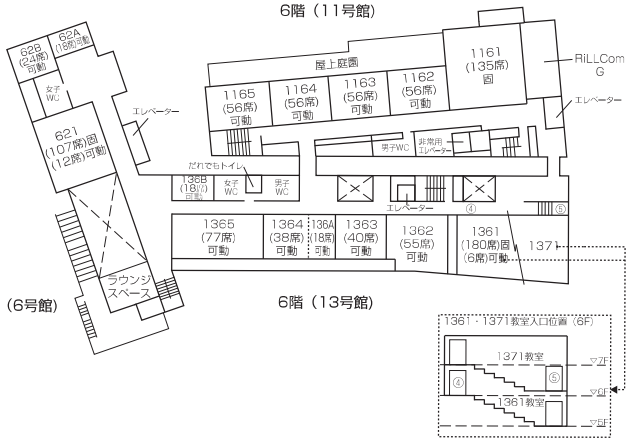
5階（13号館）

6・11・13号館　（品川）

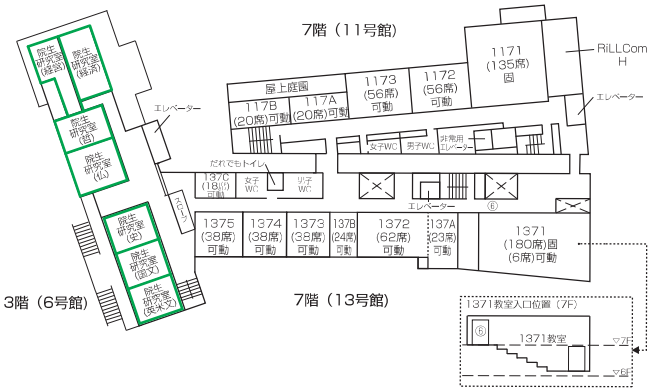
図書館（11号館地下1～3階）、150周年記念館（6・13号館）

表記について
（　）：収容人数
固　：机・椅子固定
可動：机・椅子可動
♥　：AED設置場所
◀　：出入口

6階（11号館）



7階（11号館）

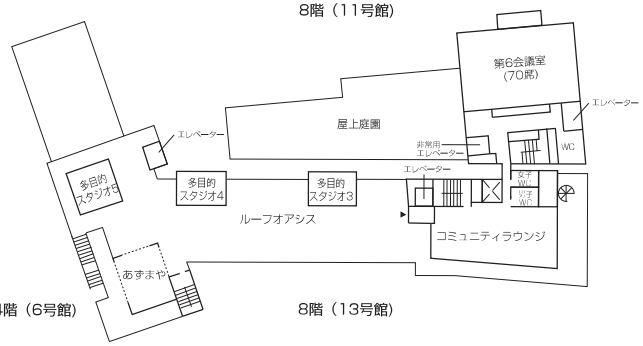


6・11・13号館　（品川）

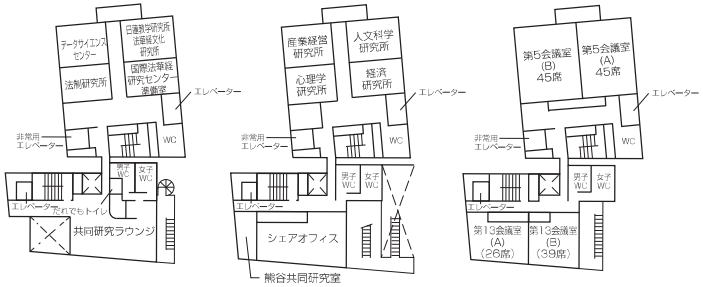
図書館（11号館地下1～3階）、150周年記念館（6・13号館）

表記について
（　）：収容人数
固　：机・椅子固定
可動：机・椅子可動
♥　：AED設置場所
◀　：出入口

8階（11号館）



9階（11号館）　10階（11号館）　11階（11号館）



9階（13号館）　10階（13号館）　11階（13号館）

６号館（品川）

1階	６１１　教室	118.85㎡
	プレゼンテーションスペース	133.74㎡
	セミナールーム	42.91㎡
2階	６２１　教室	119.46㎡
	６２Ａ　ゼミ室	28.70㎡
	６２Ｂ　ゼミ室	39.57㎡
	ラウンジスペース	26.54㎡
3階	院生研究室１（経営学専攻）	50.22㎡
	院生研究室２（経済学専攻）	55.67㎡
	院生研究室３（哲学専攻）	49.38㎡
	院生研究室４（仏教学専攻）	59.12㎡
	院生研究室５（史学専攻）	46.88㎡
	院生研究室６（国文学専攻）	41.79㎡
	院生研究室７（英米文学専攻）	45.20㎡
4階	多目的スタジオ５	44.96㎡

	他学部・研究科専用部分	348.26㎡

１１号館（品川）

B3階	集密書庫	423.00㎡
B2階	集密書庫	423.00㎡
B1階	図書館	577.00㎡
	RiLLCom A	13.00㎡
	RiLLCom B	15.00㎡
	RiLLCom C	14.00㎡
1階	図書館	523.00㎡
	RiLLPort	116.02㎡
2階	図書館	591.00㎡
	RiLLCom D	36.00㎡
	RiLLBox	32.00㎡
3階	図書館	260.95㎡
4階	第１端末室	80.00㎡
	第２端末室	126.00㎡
	第３端末室	126.00㎡
	第４端末室	85.00㎡
	１１４Ａ　ゼミ室	38.00㎡
	１１４Ｂ　ゼミ室	37.00㎡
	１１４Ｃ　ゼミ室	37.00㎡
	１１４Ｄ　ゼミ室	42.00㎡
	１１４Ｅ　ゼミ室	43.00㎡
	RiLLCom E	66.10㎡
5階	１１５１　教室	371.00㎡
	１１５２　教室	227.00㎡
	1151・1152　教室調整室	36.00㎡
	RiLLCom F	66.10㎡
6階	１１６１　教室	162.00㎡
	１１６２　教室	70.00㎡
	１１６３　教室	70.00㎡
	１１６４　教室	70.00㎡
	１１６５　教室	75.00㎡
	RiLLCom G	66.10㎡
7階	１１７１　教室	162.00㎡
	１１７２　教室	70.00㎡
	１１７３　教室	76.00㎡
	１１７Ａ　ゼミ室	38.00㎡
	１１７Ｂ　ゼミ室	45.00㎡
	RiLLCom H	66.10㎡

１３号館（品川）

1階	１３１１　教室	162.09㎡
3階	多目的スタジオ１	26.17㎡
	多目的スタジオ２	26.61㎡
5階	１３５１　教室	183.13㎡
	１３５２　教室	105.96㎡
	１３５３　教室	122.29㎡
	１３５４　教室	70.00㎡
	１３５Ａ　ゼミ室	42.13㎡
	１３５Ｂ　ゼミ室	40.56㎡
	１３５Ｃ　ゼミ室	28.22㎡
6階	１３６１　教室	184.04㎡
	１３６２　教室	93.61㎡
	１３６３　教室	62.74㎡
	１３６４　教室	62.65㎡
	１３６５　教室	105.48㎡
	１３６Ａ　ゼミ室	27.38㎡
	１３６Ｂ　ゼミ室	28.74㎡
7階	１３７１　教室	187.65㎡
	１３７２　教室	86.60㎡
	１３７３　教室	48.23㎡
	１３７４　教室	56.33㎡
	１３７５　教室	56.46㎡
	１３７Ａ　ゼミ室	46.06㎡
	１３７Ｂ　ゼミ室	33.87㎡
	１３７Ｃ　ゼミ室	28.74㎡
8階	多目的スタジオ３	40.41㎡
	多目的スタジオ４	41.28㎡
9階	共同研究ラウンジ	128.86㎡
10階	シェアオフィス	102.16㎡
	熊谷共同研究室	29.01㎡

	上記を含む他学部・研究科と共用部分（6・11・13号館計）	18,984.50㎡

立正大学大学院学則

昭和25年４月５日
制定

第１章　総　則

第１条　本大学院は、教育基本法および学校教育法の定めるところに従い、学部における一般的ならびに専門的教養の基礎のうえに、高度にして専門的な学術の理論および応用を教授・研究し、以って文化の進展と人類の福祉に寄与することを目的とする。

２　本大学院は、研究・教育の向上をはかり、前項の目的を達成するために自己点検・評価を行う。これに関する事項は別に定める。

３　本大学院は、授業および研究指導の内容・方法の改善を図るためにファカルティ・ディベロップメント活動を実施する。これに関する実施体制および方法については、別に定める。

４　本大学院は、教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るため、教職員に必要な知識および技能を習得させ、ならびにその能力および資質を向上させるための研修（スタッフ・ディベロップメント）を行うほか、必要な取組を行うものとする。

第１条の２　本大学院の課程は、修士課程および博士課程とする。

２　博士課程は、これを前期２年および後期３年の課程に区分し、前期２年の博士前期課程は、これを修士課程として取り扱うものとする。ただし、法学研究科、経営学研究科はこの限りでない。

３　本学則においては、前項の前期２年の課程を「修士課程」といい、後期３年の課程を「博士後期課程」という。

第２条　修士課程は、広い視野に立って精深な学識を授け、専攻分野における研究能力またはこれに加えて高度の専門性を要する職業等に必要な能力を養うことを目的とする。

２　博士課程は、専攻分野について研究者として自立して研究活動を行なうに必要な高度の研究能力およびその基礎となる豊かな学識を養うことを目的とする。

第２条の２　前条および第６条の２で定める目的の実現を図るため、全学・各研究科専攻とも、教育目標ならびに三つのポリシー（「修了認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）、「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）および「入学者受入れの方針」（アドミッション・ポリシー））を別に定め、これらに基づき教育の質を不断に検証しその向上を図る。

第３条　本大学院の修士課程の標準修業年限は２年とし、博士後期課程にあっては、標準修業年限は３年とする。ただし、教育研究上の必要があると認められた場合には、研究科、専攻または学生の履修上の区分に応じて、その修業年限を別に定めることができる。

２　第３条の３に基づき、長期にわたる履修を認められた者は、当該研究科で許可された年限を標準修業年限とする。

第３条の２　修士課程等にあっては４年、博士後期課程にあっては６年を超えて在学することができない。

２　学生が前項に規定する在学年限に達したときは、当該研究科委員会の議を経て除籍する。

第３条の３　研究科は、別に定めるところにより、学生が職業を有している等の事情により第３条第１項に規定する標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、課程を修了することを希望する旨を申し出たときは、その計画的な履修を認めることができる。

第４条　本大学院に次の研究科を設け、それぞれに次の専攻を置く。

文学研究科	仏教学専攻
	英米文学専攻
	社会学専攻
	史学専攻
	国文学専攻
	哲学専攻
経済学研究科	経済学専攻
法学研究科	法学専攻
経営学研究科	経営学専攻

社会福祉学研究科　　社会福祉学専攻
　　教育福祉学専攻
地球環境科学研究科　環境システム学専攻
　　地理空間システム学専攻
心理学研究科　　臨床心理学専攻
　　対人・社会心理学専攻
　　心理学専攻

２　文学研究科は博士課程とする。
３　経済学研究科は博士課程とする。
４　法学研究科は修士課程とする。
５　経営学研究科は修士課程とする。
６　社会福祉学研究科は博士課程とする。
７　地球環境科学研究科は博士課程とする。
８　心理学研究科は博士課程とする。

第５条　本大学院の収容定員は、次のとおりとする。

１　修士課程

研究科別	専攻別	入学定員	収容定員
文学研究科	仏教学専攻	10名	20名
	英米文学専攻	10名	20名
	社会学専攻	10名	20名
	史学専攻	10名	20名
	国文学専攻	10名	20名
	哲学専攻	６名	12名
経済学研究科	経済学専攻	10名	20名
法学研究科	法学専攻	10名	20名
経営学研究科	経営学専攻	10名	20名
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	６名	12名
	教育福祉学専攻	４名	８名
地球環境科学研究科	環境システム学専攻	10名	20名
	地理空間システム学専攻	８名	16名
心理学研究科	臨床心理学専攻	10名	20名
	対人・社会心理学専攻	５名	10名

２　博士後期課程

研究科別	専攻別	入学定員	収容定員
文学研究科	仏教学専攻	３名	９名
	英米文学専攻	２名	６名
	社会学専攻	２名	６名
	史学専攻	４名	12名
	国文学専攻	３名	９名
	哲学専攻	３名	９名
経済学研究科	経済学専攻	６名	18名
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	３名	９名
地球環境科学研究科	環境システム学専攻	４名	12名
	地理空間システム学専攻	３名	９名
心理学研究科	心理学専攻	４名	12名

第２章　人材育成・教育研究上の目的・授業科目・単位数・履修方法・課程修了要件

第６条　本大学院の教育は、授業科目の授業および学位論文の作成等に対する指導（以下「研究指導」

という。）によって行うものとする。

第６条の２　本大学院各研究科各専攻別の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的ならびに修士課程・博士後期課程の開講科目単位数および履修方法は次の通りとする。

１　文学研究科

（１）　修士課程

文学研究科は、個および集団としての人間を中心に据えて、人間の創造する文化を省察し解明することを通して、真実・正義・和平を実現しようとする有為な人材を養成すること、ならびに、そのために必要な教育研究を行うことを、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的とする。

（イ）　研究科共通必修科目

修士課程の学生は、所属する専攻に関わらず、下表に示す共通必修科目を必ず修得すること。

授業科目	必修	選択	備考
研究の基礎	2		
研究指導［修士］１	1		
研究指導［修士］２	1		

（ロ）　授業科目

①　仏教学専攻

文学研究科仏教学専攻修士課程は、日蓮教学・日蓮教団史の研究教育を中心とする宗学または仏教思想・仏教史・仏教文化の研究教育を中心とする仏教学の各分野における基礎的な研究能力、もしくは当該分野に関連し専門性を要する職業等に必要な能力を身に付けた人材を養成すること、ならびに、そのために必要な教育研究を行うことを、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的とする。

授業科目	選択必修	選択	備考
宗学コース			修了要件 共通必修科目４単位かつ両コースともに、選択必修科目から特講８単位以上と演習８単位以上を修得し、合計32単位以上修得すること。かつ、修士論文を作成し、審査に合格すること。
宗学特講１	2		
宗学特講２	2		
宗学特講３	2		
宗学特講４	2		
宗学演習１	2		
宗学演習２	2		
宗学演習３	2		
宗学演習４	2		
宗史特講１	2		
宗史特講２	2		
宗史特講３	2		
宗史特講４	2		
宗史演習１	2		
宗史演習２	2		
宗史演習３	2		
宗史演習４	2		
仏教学特講１		2	
仏教学特講２		2	
仏教学特講３		2	

仏教学特講４		2
仏教学演習１		2
仏教学演習２		2
仏教学演習３		2
仏教学演習４		2
仏教史学特講１		2
仏教史学特講２		2
仏教史学特講３		2
仏教史学特講４		2
仏教史学演習１		2
仏教史学演習２		2
仏教史学演習３		2
仏教史学演習４		2
仏教文化特講１		2
仏教文化特講２		2
仏教文化特講３		2
仏教文化特講４		2
仏教文化演習１		2
仏教文化演習２		2
仏教文化演習３		2
仏教文化演習４		2
仏教学コース		
仏教学特講１	2	
仏教学特講２	2	
仏教学特講３	2	
仏教学特講４	2	
仏教学演習１	2	
仏教学演習２	2	
仏教学演習３	2	
仏教学演習４	2	
仏教史学特講１	2	
仏教史学特講２	2	
仏教史学特講３	2	
仏教史学特講４	2	
仏教史学演習１	2	
仏教史学演習２	2	
仏教史学演習３	2	
仏教史学演習４	2	
仏教文化特講１	2	
仏教文化特講２	2	
仏教文化特講３	2	
仏教文化特講４	2	
仏教文化演習１	2	
仏教文化演習２	2	
仏教文化演習３	2	
仏教文化演習４	2	
宗学特講１		2

宗学特講２		2	
宗学特講３		2	
宗学特講４		2	
宗学演習１		2	
宗学演習２		2	
宗学演習３		2	
宗学演習４		2	
宗史特講１		2	
宗史特講２		2	
宗史特講３		2	
宗史特講４		2	
宗史演習１		2	
宗史演習２		2	
宗史演習３		2	
宗史演習４		2	
宗学・仏教学コース共通			
東洋哲学特講１		2	
東洋哲学特講２		2	
宗教学特講１		2	
宗教学特講２		2	
仏教考古学特講１		2	
仏教考古学特講２		2	

② 英米文学専攻

英文学、米文学、英語学、英語教育およびその関連諸分野において、専門的知識・能力、あるいは専門性を必要とする職業に必要な能力を身につけた人材を養成すること、ならびに、そのために必要な教育研究を行うことを、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的とする。

授業科目	選択必修	選択	備考
英米文学研究方法論１	2		修了要件 共通必修科目４単位､選択必修４科目８単位と、特殊研究14科目の中から英文学、米文学、英語学、英語教育学の４分野のうち３分野からそれぞれ１分野２科目、合計６科目12単位、演習20科目の中から４科目８単位以上を修得し、合計32単位以上を修得すること。かつ、修士論文を作成し、審査に合格すること。
英米文学研究方法論２	2		
英米文学研究方法論３	2		
英米文学研究方法論４	2		
英語学研究方法論１	2		
英語学研究方法論２	2		
英語学研究方法論３	2		
英語学研究方法論４	2		
英文学特殊研究１		2	
英文学特殊研究２		2	
英文学特殊研究３		2	
英文学特殊研究４		2	
米文学特殊研究１		2	
米文学特殊研究２		2	
米文学特殊研究３		2	
米文学特殊研究４		2	
英語学特殊研究１		2	

英語学特殊研究２		2	
英語学特殊研究３		2	
英語学特殊研究４		2	
英語教育学特殊研究１		2	
英語教育学特殊研究２		2	
英文学演習１		2	
英文学演習２		2	
英文学演習３		2	
英文学演習４		2	
米文学演習１		2	
米文学演習２		2	
米文学演習３		2	
米文学演習４		2	
英語学演習１		2	
英語学演習２		2	
英語学演習３		2	
英語学演習４		2	
シェイクスピア演習１		2	
シェイクスピア演習２		2	
アカデミック・ライティング演習１		2	
アカデミック・ライティング演習２		2	
アカデミック・ライティング演習３		2	
アカデミック・ライティング演習４		2	
英語教育学演習１		2	
英語教育学演習２		2	

③　社会学専攻

文学研究科社会学専攻修士課程は、社会学理論、犯罪、都市、環境、家族、労働、宗教、社会情報、社会心理、コミュニケーション、統計などの各分野における研究能力、もしくは当該分野に関連し高度な専門性を要する職業などに必要な能力を身に付けた人材を養成すること、ならびに、そのために必要な教育研究を行うことを、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的とする。

授業科目	必修	選択	備考
理論社会学演習１		2	修了要件
理論社会学演習２		2	共通必修科目４単位、演習４単位以上を必修
理論社会学講義１		2	とし、合計32単位以上修得すること。かつ、
理論社会学講義２		2	修士論文を作成し、審査に合格すること。
宗教社会学演習１		2	
宗教社会学演習２		2	
宗教社会学講義１		2	
宗教社会学講義２		2	
環境社会学演習１		2	
環境社会学演習２		2	
環境社会学講義１		2	

環境社会学講義２		2	
家族社会学演習１		2	
家族社会学演習２		2	
家族社会学講義１		2	
家族社会学講義２		2	
都市社会学演習１		2	
都市社会学演習２		2	
都市社会学講義１		2	
都市社会学講義２		2	
犯罪社会学演習１		2	
犯罪社会学演習２		2	
犯罪社会学講義１		2	
犯罪社会学講義２		2	
情報社会学演習１		2	
情報社会学演習２		2	
情報社会学講義１		2	
情報社会学講義２		2	
現代ジャーナリズム論演習１		2	
現代ジャーナリズム論演習２		2	
現代ジャーナリズム論講義１		2	
現代ジャーナリズム論講義２		2	
自己の社会学演習１		2	
自己の社会学演習２		2	
自己の社会学講義１		2	
自己の社会学講義２		2	
現代社会論演習１		2	
現代社会論演習２		2	
現代社会論講義１		2	
現代社会論講義２		2	
社会調査方法論１		2	
社会調査方法論２		2	
社会調査フィールドワーク		2	
社会学特講１		2	
社会学特講２		2	
社会学特講３		2	
社会学特講４		2	

④　史学専攻

史学専攻・修士課程においては、日本史、東洋史、西洋史、考古学の４コースに分かれ、各コースで史資料にもとづく専門的研究に従事し、総合的な歴史認識の方法、豊かな学識と基礎的な研究能力を身につけた有為の人材を養成すること、ならびに、そのために必要な教育研究を行うことを、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的とする。

授業科目	選択必修	選択	備考
日本古代史演習１	2		１）史学専攻は、日本史・東洋史・西洋史・考古学の４コースに分かれる。 ２）全コースとも共通必修科目４単位を修得すること。
日本古代史演習２	2		
日本古代史演習３	2		
日本古代史演習４	2		

日本中世史演習１	2	
日本中世史演習２	2	
日本中世史演習３	2	
日本中世史演習４	2	
日本近世史演習１	2	
日本近世史演習２	2	
日本近世史演習３	2	
日本近世史演習４	2	
日本近現代史演習１	2	
日本近現代史演習２	2	
日本近現代史演習３	2	
日本近現代史演習４	2	
東洋史演習１	2	
東洋史演習２	2	
東洋史演習３	2	
東洋史演習４	2	
東洋史演習５	2	
東洋史演習６	2	
東洋史演習７	2	
東洋史演習８	2	
西洋史演習１	2	
西洋史演習２	2	
西洋史演習３	2	
西洋史演習４	2	
西洋史演習５	2	
西洋史演習６	2	
西洋史演習７	2	
西洋史演習８	2	
考古学演習１	2	
考古学演習２	2	
考古学演習３	2	
考古学演習４	2	
考古学演習５	2	
考古学演習６	2	
考古学演習７	2	
考古学演習８	2	
古文書学特講１	2	
古文書学特講２	2	
古文書学特講３	2	
古文書学特講４	2	
考古学実習１	2	

３）日本史コースは、日本古代史演習１～４、日本中世史演習１～４、日本近世史演習１～４および日本近現代史演習１～４の内から４科目８単位、ならびに古文書学特講１～４の内から２科目４単位を必修とする。
４）東洋史コースは、東洋史演習１～８の内から、４科目８単位を必修とする。
５）西洋史コースは、西洋史演習１～８の内から、４科目８単位を必修とする。
６）考古学コースは、考古学演習１～８の内から、４科目８単位、および考古学実習１～４の内から、２科目４単位を必修とする。
７）各コースとも、自コースの選択科目の中から特講２科目４単位を必修とする。

修了要件

合計32単位以上を修得すること。かつ、修士論文を作成し、審査に合格すること。

考古学実習２	2		
考古学実習３	2		
考古学実習４	2		
日本史特講１		2	
日本史特講２		2	
日本史特講３		2	
日本史特講４		2	
日本史特講５		2	
日本史特講６		2	
日本史特講７		2	
日本史特講８		2	
古文書学実習１		2	
古文書学実習２		2	
古文書学実習３		2	
古文書学実習４		2	
東洋史特講１		2	
東洋史特講２		2	
東洋史特講３		2	
東洋史特講４		2	
東洋史特講５		2	
東洋史特講６		2	
東洋史特講７		2	
東洋史特講８		2	
西洋史特講１		2	
西洋史特講２		2	
西洋史特講３		2	
西洋史特講４		2	
西洋史特講５		2	
西洋史特講６		2	
西洋史特講７		2	
西洋史特講８		2	
西洋史料研究１		2	
西洋史料研究２		2	
考古学特講１		2	
考古学特講２		2	
考古学特講３		2	
考古学特講４		2	
考古学特講５		2	
考古学特講６		2	
考古学特講７		2	
考古学特講８		2	

⑤　国文学専攻

日本語学、日本文学、琉球文学、漢文学およびその関連諸分野において、専門的知識・知見を身につけ社会的に貢献しうる人材を養成すること、ならびに、そのために必要な教育研究を行うことを、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的とする。

授業科目	必修	選択	備考

日本文学特講１		2	修了要件 共通必修科目４単位、特講８単位以上、演習８単位以上を必修とし、合計32単位以上を修得すること。かつ、修士論文を作成し、審査に合格すること。
日本文学特講２		2	
日本文学特講３		2	
日本文学特講４		2	
日本文学特講５		2	
日本文学特講６		2	
日本文学特講７		2	
日本文学特講８		2	
琉球文学特講１		2	
琉球文学特講２		2	
漢文学特講１		2	
漢文学特講２		2	
日本語学特講１		2	
日本語学特講２		2	
日本文学演習１		2	
日本文学演習２		2	
日本文学演習３		2	
日本文学演習４		2	
日本文学演習５		2	
日本文学演習６		2	
日本文学演習７		2	
日本文学演習８		2	
琉球文学演習１		2	
琉球文学演習２		2	
漢文学演習１		2	
漢文学演習２		2	
日本語学演習１		2	
日本語学演習２		2	
漢字書道実習１		2	
漢字書道実習２		2	
仮名書道実習１		2	
仮名書道実習２		2	
文学史特殊研究１		2	
文学史特殊研究２		2	
口承文学特殊研究１		2	
口承文学特殊研究２		2	
言語文化特殊研究１		2	
言語文化特殊研究２		2	
日本芸能史特講１		2	
日本芸能史特講２		2	
日本芸能史演習１		2	
日本芸能史演習２		2	

⑥　哲学専攻

文学研究科哲学専攻修士課程は、哲学および関連する人文社会系の諸分野において、専門的知識ならびに批判的能力を身につけ、社会的に貢献しうる人材を養成すること、ならびに、そのために必要な教育研究を行うことを、人材の養成に関する目的その他の教育研

究上の目的とする。

授業科目	必修	選択	備考
古代哲学講義１		2	修了要件 共通必修科目４単位、合計32単位以上を修得すること。かつ、修士論文を作成し、審査に合格すること。
古代哲学講義２		2	
宗教哲学講義１		2	
宗教哲学講義２		2	
近代哲学講義１		2	
近代哲学講義２		2	
近代哲学講義３		2	
近代哲学講義４		2	
近代哲学講義５		2	
近代哲学講義６		2	
現代哲学講義１		2	
現代哲学講義２		2	
現代哲学講義３		2	
現代哲学講義４		2	
現代哲学講義５		2	
現代哲学講義６		2	
現代哲学講義７		2	
現代哲学講義８		2	
古代哲学演習１		2	
古代哲学演習２		2	
宗教哲学演習１		2	
宗教哲学演習２		2	
近代哲学演習１		2	
近代哲学演習２		2	
近代哲学演習３		2	
近代哲学演習４		2	
近代哲学演習５		2	
近代哲学演習６		2	
現代哲学演習１		2	
現代哲学演習２		2	
現代哲学演習３		2	
現代哲学演習４		2	
現代哲学演習５		2	
現代哲学演習６		2	
現代哲学演習７		2	
現代哲学演習８		2	

（２） 博士後期課程

文学研究科は、個および集団としての人間を中心に据えて、人間の創造する文化を高度に研ぎ澄まされた広い視野と豊かな学識を通して省察し解明することを通して、真実・正義・和平を実現しようとする有為な人材を養成すること、ならびに、そのために必要な高度にして先端的な教育研究を行うことを、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的とする。

（イ） 研究指導

博士後期課程の学生は、その所属する専攻の次に示す研究分野における博士後期課程の指導教授について少なくとも週１回研究指導を受けるものとする。

専攻別	研究分野
仏教学専攻	日蓮教学　日蓮教団史　仏教学　仏教史学
英米文学専攻	英文学　米文学　英語学
社会学専攻	理論社会学　宗教社会学　地域社会学　情報社会学
史学専攻	日本史学　東洋史学　西洋史学　考古学
国文学専攻	日本文学　日本語学　日中比較文学
哲学専攻	西洋哲学　社会哲学

（ロ）　授業科目

①　仏教学専攻

文学研究科仏教学専攻博士後期課程は、日蓮教学・日蓮教団史の研究教育を中心とする宗学または仏教思想・仏教史・仏教文化の研究教育を中心とする仏教学の各分野における高度な研究能力、もしくは当該分野に関連し高度な専門性を要する職業等に必要な能力を身に付けた人材を養成すること、ならびに、そのために必要な教育研究を行うことを、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的とする。

授業科目	必修	選択	備考
宗学関連科目			修了要件 ３年間にわたって指導教授の研究指導を受け、12単位以上を修得すること。かつ、博士論文を作成し、審査に合格すること。
宗学特講１		2	
宗学特講２		2	
宗学特講３		2	
宗学特講４		2	
宗学演習１		2	
宗学演習２		2	
宗学演習３		2	
宗学演習４		2	
宗史特講１		2	
宗史特講２		2	
宗史特講３		2	
宗史特講４		2	
宗史演習１		2	
宗史演習２		2	
宗史演習３		2	
宗史演習４		2	
仏教学関連科目			
仏教学特講１		2	
仏教学特講２		2	
仏教学特講３		2	
仏教学特講４		2	
仏教学演習１		2	
仏教学演習２		2	
仏教学演習３		2	
仏教学演習４		2	
仏教史学特講１		2	
仏教史学特講２		2	
仏教史学特講３		2	
仏教史学特講４		2	
仏教史学演習１		2	

仏教史学演習２		2	
仏教史学演習３		2	
仏教史学演習４		2	
仏教文化特講１		2	
仏教文化特講２		2	
仏教文化特講３		2	
仏教文化特講４		2	
仏教文化演習１		2	
仏教文化演習２		2	
仏教文化演習３		2	
仏教文化演習４		2	
関連領域科目			
東洋哲学特講１		2	
東洋哲学特講２		2	
宗教学特講１		2	
宗教学特講２		2	
仏教考古学特講１		2	
仏教考古学特講２		2	

② 英米文学専攻

英文学、米文学、英語学、英語教育およびその関連諸分野の研究を生かして社会的ニーズに応えることのできる、高度にして専門的な知識・能力を備えた人材を養成すること、ならびに、そのために必要な教育研究を行うことを、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的とする。

授業科目	必修	選択	備考
英米文学研究方法論１		2	修了要件
英米文学研究方法論２		2	３年間にわたって指導教授の研究指導を受
英米文学研究方法論３		2	け、12単位以上を修得すること。かつ、博士
英米文学研究方法論４		2	論文を作成し、審査に合格すること。
英語学研究方法論１		2	
英語学研究方法論２		2	
英語学研究方法論３		2	
英語学研究方法論４		2	
英文学特殊研究１		2	
英文学特殊研究２		2	
英文学特殊研究３		2	
英文学特殊研究４		2	
米文学特殊研究１		2	
米文学特殊研究２		2	
米文学特殊研究３		2	
米文学特殊研究４		2	
英語学特殊研究１		2	
英語学特殊研究２		2	
英語学特殊研究３		2	
英語学特殊研究４		2	
英語教育学特殊研究１		2	
英語教育学特殊研究２		2	

英文学演習１		2	
英文学演習２		2	
英文学演習３		2	
英文学演習４		2	
米文学演習１		2	
米文学演習２		2	
米文学演習３		2	
米文学演習４		2	
英語学演習１		2	
英語学演習２		2	
英語学演習３		2	
英語学演習４		2	
シェイクスピア演習１		2	
シェイクスピア演習２		2	
アカデミック・ライティング演習１		2	
アカデミック・ライティング演習２		2	
アカデミック・ライティング演習３		2	
アカデミック・ライティング演習４		2	
英語教育学演習１		2	
英語教育学演習２		2	

③　社会学専攻

文学研究科社会学専攻博士後期課程は、修士課程での学修や研究の成果を踏まえて、社会学理論、犯罪、都市、環境、家族、労働、宗教、社会情報、社会心理、コミュニケーション、統計などの各分野における高度な研究能力、もしくは当該分野に関連し高度な専門性を要する職業などに必要な能力を身に付けた人材を養成すること、ならびに、そのために必要な教育研究を行うことを、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的とする。

授業科目	必修	選択	備考
理論社会学演習１		2	修了要件
理論社会学演習２		2	３年間にわたって指導教授の研究指導を受け、12単位以上を修得すること。かつ、博士論文を作成し、審査に合格すること。
理論社会学講義１		2	
理論社会学講義２		2	
宗教社会学演習１		2	
宗教社会学演習２		2	
宗教社会学講義１		2	
宗教社会学講義２		2	
環境社会学演習１		2	
環境社会学演習２		2	
環境社会学講義１		2	
環境社会学講義２		2	
家族社会学演習１		2	
家族社会学演習２		2	
家族社会学講義１		2	

家族社会学講義２		2	
都市社会学演習１		2	
都市社会学演習２		2	
都市社会学講義１		2	
都市社会学講義２		2	
犯罪社会学演習１		2	
犯罪社会学演習２		2	
犯罪社会学講義１		2	
犯罪社会学講義２		2	
情報社会学演習１		2	
情報社会学演習２		2	
情報社会学講義１		2	
情報社会学講義２		2	
現代ジャーナリズム論演習１		2	
現代ジャーナリズム論演習２		2	
現代ジャーナリズム論講義１		2	
現代ジャーナリズム論講義２		2	
自己の社会学演習１		2	
自己の社会学演習２		2	
自己の社会学講義１		2	
自己の社会学講義２		2	
現代社会論演習１		2	
現代社会論演習２		2	
現代社会論講義１		2	
現代社会論講義２		2	

④　史学専攻

史学専攻・博士後期課程においては、日本史、東洋史、西洋史、考古学の４コースにそくして、史資料にもとづく専門的研究を深め、それぞれの分野で自立した研究者として論文を発表し、学界に貢献する人材を養成すること、ならびに、そのために必要な教育研究を行うことを、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的とする。

授業科目	必修	選択	備考
日本古代史演習１		2	修了要件 ３年間にわたって指導教授の研究指導を受け、12単位以上を修得すること。かつ、博士論文を作成し、審査に合格すること。
日本古代史演習２		2	
日本古代史演習３		2	
日本古代史演習４		2	
日本中世史演習１		2	
日本中世史演習２		2	
日本中世史演習３		2	
日本中世史演習４		2	
日本近世史演習１		2	
日本近世史演習２		2	
日本近世史演習３		2	
日本近世史演習４		2	
日本近現代史演習１		2	
日本近現代史演習２		2	
日本近現代史演習３		2	

日本近現代史演習４		2
東洋史演習１		2
東洋史演習２		2
東洋史演習３		2
東洋史演習４		2
東洋史演習５		2
東洋史演習６		2
東洋史演習７		2
東洋史演習８		2
西洋史演習１		2
西洋史演習２		2
西洋史演習３		2
西洋史演習４		2
西洋史演習５		2
西洋史演習６		2
西洋史演習７		2
西洋史演習８		2
考古学演習１		2
考古学演習２		2
考古学演習３		2
考古学演習４		2
考古学演習５		2
考古学演習６		2
考古学演習７		2
考古学演習８		2
古文書学特講１		2
古文書学特講２		2
古文書学特講３		2
古文書学特講４		2
日本史特講１		2
日本史特講２		2
日本史特講３		2
日本史特講４		2
日本史特講５		2
日本史特講６		2
日本史特講７		2
日本史特講８		2
東洋史特講１		2
東洋史特講２		2
東洋史特講３		2
東洋史特講４		2
東洋史特講５		2
東洋史特講６		2
東洋史特講７		2
東洋史特講８		2
西洋史特講１		2
西洋史特講２		2

西洋史特講３		2	
西洋史特講４		2	
西洋史特講５		2	
西洋史特講６		2	
西洋史特講７		2	
西洋史特講８		2	
考古学特講１		2	
考古学特講２		2	
考古学特講３		2	
考古学特講４		2	
考古学特講５		2	
考古学特講６		2	
考古学特講７		2	
考古学特講８		2	

⑤　国文学専攻

日本語学、日本文学、琉球文学、漢文学の各専攻分野において修士論文を提出した学生が博士論文を完成し社会において指導的位置に立つことのできる者を養成すること、ならびに、そのために必要な教育研究を行うことを、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的とする。

授業科目	必修	選択	備考
日本文学特講１		2	修了要件 ３年間にわたって指導教授の研究指導を受け、12単位以上を修得すること。かつ、博士論文を作成し、審査に合格すること。
日本文学特講２		2	
日本文学特講３		2	
日本文学特講４		2	
日本文学特講５		2	
日本文学特講６		2	
日本文学特講７		2	
日本文学特講８		2	
琉球文学特講１		2	
琉球文学特講２		2	
漢文学特講１		2	
漢文学特講２		2	
日本語学特講１		2	
日本語学特講２		2	
日本文学演習１		2	
日本文学演習２		2	
日本文学演習３		2	
日本文学演習４		2	
日本文学演習５		2	
日本文学演習６		2	
日本文学演習７		2	
日本文学演習８		2	
琉球文学演習１		2	
琉球文学演習２		2	
漢文学演習１		2	
漢文学演習２		2	

日本語学演習１		2	
日本語学演習２		2	
日本芸能史特講１		2	
日本芸能史特講２		2	
日本芸能史演習１		2	
日本芸能史演習２		2	

⑥　哲学専攻

文学研究科哲学専攻博士課程は、哲学および関連する人文社会系学問の諸分野において研究を究め、その研鑽を通じて培った能力を活かし社会において指導的位置に立つことのできる者を養成すること、ならびに、そのために必要な教育研究を行うことを、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的とする。

授業科目	必修	選択	備考
古代哲学講義１		2	修了要件 ３年間にわたって指導教授の研究指導を受け、12単位以上を修得すること。かつ、博士論文を作成し、審査に合格すること。
古代哲学講義２		2	
宗教哲学講義１		2	
宗教哲学講義２		2	
近代哲学講義１		2	
近代哲学講義２		2	
近代哲学講義３		2	
近代哲学講義４		2	
現代哲学講義１		2	
現代哲学講義２		2	
現代哲学講義３		2	
現代哲学講義４		2	
現代哲学講義５		2	
現代哲学講義６		2	
現代哲学講義７		2	
現代哲学講義８		2	
古代哲学演習１		2	
古代哲学演習２		2	
宗教哲学演習１		2	
宗教哲学演習２		2	
近代哲学演習１		2	
近代哲学演習２		2	
近代哲学演習３		2	
近代哲学演習４		2	
現代哲学演習１		2	
現代哲学演習２		2	
現代哲学演習３		2	
現代哲学演習４		2	
現代哲学演習５		2	
現代哲学演習６		2	
現代哲学演習７		2	
現代哲学演習８		2	

２　経済学研究科

（１）　修士課程

広い視野に立って精深な学識を授け、経済と環境および地域分野における研究能力または高度の専門性を要する職業等に必要な能力を養成することおよびそのために必要な教育研究を行うことを、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的とする。

①　経済学専攻

授業科目	必修	選択	備考
＜演習科目＞			修了要件
演習Ⅰ		4	環境システム研究コースに所属する学生は環境システム研究コース科目より12単位以上選択履修し、単位を修得すること。 経済システム研究コースに所属する学生は経済システム研究コース科目より12単位以上選択履修し、単位を修得すること。 地域システム研究コースに所属する学生は地域システム研究コース科目より12単位以上選択履修し、単位を修得すること。 各コースとも選択科目12単位を含めて30単位以上を修得し、かつ修士論文を提出し審査および最終試験に合格すること。
演習Ⅱ		4	
演習Ⅲ		4	
演習Ⅳ		4	
＜環境システム研究コース科目＞			
環境経済学特論１		2	
環境経済学特論２		2	
環境経済学特論３		2	
環境経済学特論４		2	
環境政策特論１		2	
環境政策特論２		2	
環境政策特論３		2	
環境政策特論４		2	
国際環境特論１		2	
国際環境特論２		2	
国際環境特論３		2	
国際環境特論４		2	
地域農業環境特論１		2	
地域農業環境特論２		2	
地域農業環境特論３		2	
地域農業環境特論４		2	
都市環境特論１		2	
都市環境特論２		2	
都市環境特論３		2	
都市環境特論４		2	
環境学特論１		2	
環境学特論２		2	
環境学特論３		2	
環境学特論４		2	
＜経済システム研究コース科目＞			
ミクロ経済学特論１		2	
ミクロ経済学特論２		2	
ミクロ経済学特論３		2	
ミクロ経済学特論４		2	
マクロ経済学特論１		2	
マクロ経済学特論２		2	
マクロ経済学特論３		2	

マクロ経済学特論４		2		
マルクス経済学特論１		2		
マルクス経済学特論２		2		
マルクス経済学特論３		2		
マルクス経済学特論４		2		
財政学特論１		2		
財政学特論２		2		
財政学特論３		2		
財政学特論４		2		
金融論特論１		2		
金融論特論２		2		
金融論特論３		2		
金融論特論４		2		
経済数学特論１		2		
経済数学特論２		2		
経済数学特論３		2		
経済数学特論４		2		
経済統計学特論１		2		
経済統計学特論２		2		
経済統計学特論３		2		
経済統計学特論４		2		
労働経済学特論１		2		
労働経済学特論２		2		
労働経済学特論３		2		
労働経済学特論４		2		
計量経済学特論１		2		
計量経済学特論２		2		
計量経済学特論３		2		
計量経済学特論４		2		
景気循環論特論１		2		
景気循環論特論２		2		
景気循環論特論３		2		
景気循環論特論４		2		
情報経済学特論１		2		
情報経済学特論２		2		
情報経済学特論３		2		
情報経済学特論４		2		
＜地域システム研究コース科目＞				
国際経済学特論１		2		
国際経済学特論２		2		
国際経済学特論３		2		
国際経済学特論４		2		
国際金融論特論１		2		
国際金融論特論２		2		
国際金融論特論３		2		
国際金融論特論４		2		
日本経済論特論１		2		
日本経済論特論２		2		
日本経済論特論３		2		

日本経済論特論４		2	
日本経済史特論１		2	
日本経済史特論２		2	
日本経済史特論３		2	
日本経済史特論４		2	
西洋経済史特論１		2	
西洋経済史特論２		2	
西洋経済史特論３		2	
西洋経済史特論４		2	
経済学史特論１		2	
経済学史特論２		2	
経済学史特論３		2	
経済学史特論４		2	
開発経済学特論１		2	
開発経済学特論２		2	
開発経済学特論３		2	
開発経済学特論４		2	
地域経済特論１		2	
地域経済特論２		2	
地域経済特論３		2	
地域経済特論４		2	
地域文化特論１		2	
地域文化特論２		2	
地域文化特論３		2	
地域文化特論４		2	
国際文化特論１		2	
国際文化特論２		2	
国際文化特論３		2	
国際文化特論４		2	
＜共通科目＞			
特講１		2	
特講２		2	
特講３		2	
特講４		2	
＜自由科目＞			
研究英語演習１		2	
研究英語演習２		2	
研究英語演習３		2	
研究英語演習４		2	
研究日本語演習１		2	
研究日本語演習２		2	
研究日本語演習３		2	
研究日本語演習４		2	

（２）　博士後期課程

経済と環境および地域の新しい課題に挑戦し、研究者として自立的な研究活動を行うに必要な高度の研究能力および基礎となる豊かな学識を養うことおよびそのために必要な教育研究を行うことを、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的とする。

①　経済学専攻

授業科目	必修	選択	備考
＜演習科目＞			修了要件
研究演習Ⅰ		4	環境システム研究コースに所属する学生は環境システム研究コース科目より８単位以上選択履修し、単位を修得すること。
研究演習Ⅱ		4	
研究演習Ⅲ		4	
研究演習Ⅳ		4	
研究演習Ⅴ		4	
研究演習Ⅵ		4	
＜環境システム研究コース科目＞			
環境経済学特研１		2	経済システム研究コースに所属する学生は経済システム研究コース科目より８単位以上選択履修し、単位を修得すること。 地域システム研究コースに所属する学生は地域システム研究コース科目より８単位以上選択履修し、単位を修得すること。 各コースとも選択科目８単位を含めて20単位以上を修得し、かつ博士論文を提出し審査および最終試験に合格すること。
環境経済学特研２		2	
環境経済学特研３		2	
環境経済学特研４		2	
環境政策特研１		2	
環境政策特研２		2	
環境政策特研３		2	
環境政策特研４		2	
国際環境特研１		2	
国際環境特研２		2	
国際環境特研３		2	
国際環境特研４		2	
地域農業環境特研１		2	
地域農業環境特研２		2	
地域農業環境特研３		2	
地域農業環境特研４		2	
都市環境特研１		2	
都市環境特研２		2	
都市環境特研３		2	
都市環境特研４		2	
環境学特研１		2	
環境学特研２		2	
環境学特研３		2	
環境学特研４		2	
＜経済システム研究コース科目＞			
ミクロ経済学特研１		2	
ミクロ経済学特研２		2	
ミクロ経済学特研３		2	
ミクロ経済学特研４		2	
マクロ経済学特研１		2	
マクロ経済学特研２		2	
マクロ経済学特研３		2	
マクロ経済学特研４		2	
マルクス経済学特研１		2	
マルクス経済学特研２		2	

マルクス経済学特研３		2		
マルクス経済学特研４		2		
財政学特研１		2		
財政学特研２		2		
財政学特研３		2		
財政学特研４		2		
金融論特研１		2		
金融論特研２		2		
金融論特研３		2		
金融論特研４		2		
経済統計学特研１		2		
経済統計学特研２		2		
経済統計学特研３		2		
経済統計学特研４		2		
労働経済学特研１		2		
労働経済学特研２		2		
労働経済学特研３		2		
労働経済学特研４		2		
計量経済学特研１		2		
計量経済学特研２		2		
計量経済学特研３		2		
計量経済学特研４		2		
景気循環論特研１		2		
景気循環論特研２		2		
景気循環論特研３		2		
景気循環論特研４		2		
情報経済学特研１		2		
情報経済学特研２		2		
情報経済学特研３		2		
情報経済学特研４		2		
＜地域システム研究コース科目＞				
国際経済学特研１		2		
国際経済学特研２		2		
国際経済学特研３		2		
国際経済学特研４		2		
国際金融論特研１		2		
国際金融論特研２		2		
国際金融論特研３		2		
国際金融論特研４		2		
日本経済論特研１		2		
日本経済論特研２		2		
日本経済論特研３		2		
日本経済論特研４		2		
日本経済史特研１		2		
日本経済史特研２		2		
日本経済史特研３		2		
日本経済史特研４		2		
西洋経済史特研１		2		
西洋経済史特研２		2		

西洋経済史特研３		2	
西洋経済史特研４		2	
経済学史特研１		2	
経済学史特研２		2	
経済学史特研３		2	
経済学史特研４		2	
開発経済学特研１		2	
開発経済学特研２		2	
開発経済学特研３		2	
開発経済学特研４		2	
地域経済特研１		2	
地域経済特研２		2	
地域経済特研３		2	
地域経済特研４		2	

３　法学研究科

法学研究科は、専門的職業人・公務員養成のための法学教育、および、専門的職業人・公務員等へのリカレントのための法学教育を行い、この教育プログラムを通じて身に付けることのできる法律専門知識および法的推論能力をリーガル・マインドに基づき社会において適正に活用できる人材を養成することおよびそのために必要な教育研究を行うことを、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的とする。

（１）　修士課程

①　法学専攻

授業科目		必修	選択	備考
基礎科目群				修了要件単位 原則として全て選択科目とする。但し、論文指導教員の特殊研究と演習は必修とする。修了要件は30単位以上取得し、かつ修士論文を提出し審査に合格すること。
	公法１		2	
	公法２		2	
	私法１		2	
	私法２		2	
	裁判法１		2	
	裁判法２		2	
	法学研究入門１		2	
	法学研究入門２		2	
コア科目群				
	憲法特殊研究１		2	
	憲法特殊研究２		2	
	憲法演習１		4	
	憲法特殊研究３		2	
	憲法特殊研究４		2	
	憲法演習２		4	
	行政法特殊研究１		2	
	行政法特殊研究２		2	
	行政法演習		4	
	環境法特殊研究１		2	
	環境法特殊研究２		2	
	環境法演習		4	
	刑事法特殊研究１		2	
	刑事法特殊研究２		2	

法学	刑事法演習		4
	刑事政策特殊研究１		2
	刑事政策特殊研究２		2
	刑事政策演習		4
	刑事訴訟法特殊研究１		2
	刑事訴訟法特殊研究２		2
	刑事訴訟法演習		4
	国際法特殊研究１		2
	国際法特殊研究２		2
	国際法演習１		4
	国際法特殊研究３		2
	国際法特殊研究４		2
	国際法演習２		4
	税法特殊研究１		2
	税法特殊研究２		2
	税法演習１		4
	税法特殊研究３		2
	税法特殊研究４		2
	税法演習２		4
	民事法特殊研究１		2
	民事法特殊研究２		2
	民事法演習１		4
	民事法特殊研究３		2
	民事法特殊研究４		2
	民事法演習２		4
	民事法特殊研究５		2
	民事法特殊研究６		2
	民事法演習３		4
	民事法特殊研究７		2
	民事法特殊研究８		2
	民事法演習４		4
	商事法特殊研究１		2
	商事法特殊研究２		2
	商事法演習１		4
	商事法特殊研究３		2
	商事法特殊研究４		2
	商事法演習２		4
	商事法特殊研究５		2
	商事法特殊研究６		2
	商事法演習３		4
	労働法特殊研究１		2
	労働法特殊研究２		2
	労働法演習		4
政	政治学原論特殊研究１		2
	政治学原論特殊研究２		2
	政治学原論演習		4
	政治思想史特殊研究１		2

治学	政治思想史特殊研究２		2	
	政治思想史演習		4	
	行政学特殊研究１		2	
	行政学特殊研究２		2	
	行政学演習		4	
発展科目群				
	ジェンダー法学特講１		2	
	ジェンダー法学特講２		2	
	社会保障法特講１		2	
	社会保障法特講２		2	
	ビジネス法務特講１		2	
	ビジネス法務特講２		2	
	租税手続・争訟特講１		2	
	租税手続・争訟特講２		2	
	科学技術と民事責任		2	
	労働法特講１		2	
	労働法特講２		2	
	租税法特講１		2	
	租税法特講２		2	
	税法実務入門		2	
	税法実務特講		2	
	民事手続法特講１		2	
	民事手続法特講２		2	
	犯罪学特講１		2	
	犯罪学特講２		2	

４　経営学研究科

現代の社会・企業が要請する高度の知識と技能を有し、幅広い視野と豊かな創造的能力を持つ「心豊かな産業人」を養成することおよびそのために必要な教育研究を行うことを、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的とする。

（１）　修士課程

①　経営学専攻

授業科目	必修	選択	備考
専門基礎科目			修了要件は以下のとおりである。 専門基礎科目より３科目６単位以上 専門応用科目より２科目４単位以上 専門演習科目より４科目８単位以上 専門発展科目より２科目４単位以上 かつ、合計30単位以上を修得し、修士論文を提出し審査および最終試験に合格すること。
経営管理		2	
マーケティング		2	
会計学		2	
情報システム学		2	
専門応用科目			
戦略経営研究［経営学］１		2	
戦略経営研究［経営学］２		2	
戦略経営研究［経営学］３		2	
戦略経営研究［経営学］４		2	
戦略経営研究［経営学］５		2	

戦略経営研究［経営学］６		2	
戦略経営研究［マーケティング］１		2	
戦略経営研究［マーケティング］２		2	
戦略経営研究［マーケティング］３		2	
戦略経営研究［マーケティング］４		2	
ビジネスコントロール研究［会計学］１		2	
ビジネスコントロール研究［会計学］２		2	
ビジネスコントロール研究［会計学］３		2	
ビジネスコントロール研究［会計学］４		2	
ビジネスコントロール研究［会計学］５		2	
ビジネスコントロール研究［情報システム学］１		2	
ビジネスコントロール研究［情報システム学］２		2	
ビジネスコントロール研究［情報システム学］３		2	
ビジネスコントロール研究［情報システム学］４		2	
専門演習科目			
戦略経営演習Ⅰ［経営学］		2	
戦略経営演習Ⅱ［経営学］		2	
戦略経営演習Ⅲ［経営学］		2	
戦略経営演習Ⅳ［経営学］		2	
戦略経営演習Ⅰ［マーケティング］		2	
戦略経営演習Ⅱ［マーケティング］		2	
戦略経営演習Ⅲ［マーケティング］		2	
戦略経営演習Ⅳ［マーケティング］		2	
ビジネスコントロール演習Ⅰ［会計学］		2	
ビジネスコントロール演習Ⅱ［会計学］		2	
ビジネスコントロール演習Ⅲ［会計学］		2	
ビジネスコントロール演習Ⅳ［会計学］		2	
ビジネスコントロール演習Ⅰ［情報システム学］		2	
ビジネスコントロール演習Ⅱ［情報システム学］		2	
ビジネスコントロール演習Ⅲ［情報システム学］		2	
ビジネスコントロール演習Ⅳ［情報システム学］		2	
専門発展科目			
国際経営研究［中国ビジネス事情］		2	
国際経営研究［韓国ビジネス事情］		2	
経営実務特論［会社経営の実務］		2	
経営実務特論［法人税等の実務］		2	
経営実務特論［税務の機能と実務］		2	
経営実務特論［企業セキュリティーの実務］		2	
企業家特論［経営者セミナー］		2	

5　社会福祉学研究科

（1）　修士課程

応用力・指導力・実践力を兼ね備えた広義の社会福祉研究者・実践者を養成すること、ならびに、そのために必要な教育研究を行うことを、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的とする。

①　社会福祉学専攻

社会福祉学のより新しく高度な知識や理論、技術を修得し、その高度な教育成果と研究成果の還元を通して、広く社会福祉に貢献できる研究者や専門的実践者を養成することを目的

とする。

授業科目	必修	選択	備考
基礎共通領域群			修了要件 基礎共通領域群から４単位、ゼミナール群から仏教福祉研究ゼミナールあるいは社会福祉研究ゼミナール８単位を必修とし、基礎共通領域群、理論領域群、実践領域群から18単位以上の計30単位以上を修得したうえ、修士論文を提出し、審査および最終試験に合格すること。
仏教社会福祉特論	2		
社会福祉特論		2	
現代の社会福祉課題特論	2		
現代の教育福祉課題特論		2	
理論領域群			
地域福祉特論		2	
社会保障特論		2	
児童福祉特論		2	
高齢者福祉特論		2	
障害者福祉特論		2	
ソーシャルワーク特論		2	
福祉社会学特論		2	
生命倫理特論		2	
生涯教育特論		2	
実践領域群			
精神保健福祉特論		2	
障害児家族援助特論		2	
少年司法特論		2	
特別支援教育特論		2	
非営利組織特論		2	
ゼミナール群			
仏教福祉研究ゼミナールⅠ		2	
仏教福祉研究ゼミナールⅡ		2	
仏教福祉研究ゼミナールⅢ		2	
仏教福祉研究ゼミナールⅣ		2	
社会福祉研究ゼミナールⅠ		2	
社会福祉研究ゼミナールⅡ		2	
社会福祉研究ゼミナールⅢ		2	
社会福祉研究ゼミナールⅣ		2	

②　教育福祉学専攻

福祉と教育双方へアプローチし、それぞれの高度な専門的理論と実践を探求できる専門家を養成することを目的とする。

授業科目	必修	選択	備考
基礎共通領域群			修了要件 基礎共通領域群４単位、ゼミナール群８単位の必修科目12単位と、基礎共通領域群、理論領域群、実践領域群から18単位以上（その内理論領域群の教育領域、「生涯教育特論」「発達心理学特論」「教育心理学特論」から２単位、実践領域群の教育領域から10単位をそれぞれ必ず履修しなければならない）の計30単位以上を修得したうえ、修士
仏教社会福祉特論	2		
社会福祉特論		2	
現代の教育福祉課題特論	2		
現代の社会福祉課題特論		2	
理論領域群			
○　福祉領域			
地域福祉特論		2	
児童福祉特論		2	
ソーシャルワーク特論		2	

家庭福祉特論		2	論文を提出し、審査および最終試験に合格すること。
○　教育領域			
生命倫理特論		2	
現代保育特論		2	
生涯教育特論		2	
発達心理学特論		2	
教育心理学特論		2	
実践領域群			
○　福祉領域			
精神保健福祉特論		2	
児童養護問題特論		2	
障害児家族援助特論		2	
少年司法特論		2	
○　教育領域			
特別支援教育特論		2	
教育相談特論		2	
教育学特論		2	
情報メディア教育特論		2	
健康特論		2	
音楽表現特論		2	
教育研究［国語］		2	
教育研究［算数］		2	
教育研究［音楽］		2	
教育研究［図画工作］		2	
教育研究［体育］		2	
教育研究［生活］		2	
教育研究［社会］		2	
教育研究［家庭］		2	
領域研究［健康］		2	
領域研究［人間関係］		2	
領域研究［環境］		2	
領域研究［表現・音楽］		2	
領域研究［表現・造形］		2	
領域研究［表現・身体］		2	
ゼミナール群			
教育福祉研究ゼミナールⅠ	2		
教育福祉研究ゼミナールⅡ	2		
教育福祉研究ゼミナールⅢ	2		
教育福祉研究ゼミナールⅣ	2		

（２）　博士後期課程

福祉学を高度に応用し他の専門領域と共働して指導的立場に立てる広義の社会福祉研究者・実践者を養成すること、ならびに、そのために必要な教育研究を行うことを、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的とする。

①　社会福祉学専攻

授業科目	必修	選択	備考
研究指導			修了要件
選択必修科目			指導教授について毎週１回以上、３年間にわたり研究
社会福祉特殊講義Ⅰ		2	

社会福祉特殊講義Ⅱ		2	指導を受けること。 選択必修科目から12単位以上を取得し、かつ博士論文を提出し、審査および最終試験に合格すること。
社会福祉特殊講義Ⅲ		2	
社会福祉特殊講義Ⅳ		2	
社会福祉特殊講義Ⅴ		2	
仏教福祉特殊講義Ⅰ		2	
仏教福祉特殊講義Ⅱ		2	
人間福祉特殊講義Ⅰ		2	
人間福祉特殊講義Ⅱ		2	
人間福祉特殊講義Ⅲ		2	
人間福祉特殊講義Ⅳ		2	

6　地球環境科学研究科

（1）　修士課程

地球環境科学研究科は、地球環境問題の解決に貢献できる有為な人材を育成する地球環境科学部の基本理念と共通の基盤に立ち、地球環境科学の発展と地球環境問題の解決に取り組むことのできる高度な学識を有する人材を養成することおよびそのために必要な教育研究を行うことを、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的とする。この目的に向かって、環境システム学専攻では地圏科学・水圏科学・気圏科学・生物圏科学・情報科学等の、また地理空間システム学専攻では地理学・地域研究・地理情報科学等の、いずれも高度な知見・手法を修得し活用する。

①　環境システム学専攻

授業科目	必修	選択	備考
Ⅰ　研究科共通科目群			修了要件 研究科共通科目群の２科目４単位必修、基幹科目群のうち生物圏・地圏研究科目類、気圏・水圏研究科目類、環境情報研究科目類からそれぞれ１科目２単位以上と、いずれかの研究科目類から２科目４単位以上の計５科目10単位以上選択必修、総合科目群から２科目４単位以上選択必修、地理空間システム学専攻の総合研究科目群から２科目４単位以内選択、総合演習２科目２単位必修、その他の演習から４科目８単位以上選択必修、実験・実習１科目２単位選択必修、研究２科目４単位選択必修、合計34単位以上を取得し、修士論文を提出し、審査および最終試験に合格すること。
地球環境科学総論	2		
地理空間システム学総論	2		
Ⅱ　環境システム学専攻科目 Ａ　基幹科目群 　１　生物圏・地圏研究科目類			
陸域生物環境学特論		2	
水域生物環境学特論		2	
野生動物管理特論		2	
地圏環境学特論		2	
地球惑星物質循環特論		2	
土地環境管理特論		2	
２　気圏・水圏研究科目類			
気圏環境学特論		2	
熱収支水収支特論		2	
地球流体環境学特論		2	
水圏環境学特論		2	
地下水システム特論		2	
生態系水文循環管理特論		2	
３　環境情報研究科目類			
環境情報学特論１		2	

環境情報学特論２		2
環境リモートセンシング特論１		2
環境リモートセンシング特論２		2
ジオインフォマチックス特論		2
地球環境モデリング特論１		2
地球環境モデリング特論２		2
空間情報システム特論１		2
空間情報システム特論２		2
Ｂ　総合研究科目群		
地球環境科学総合講義［環境汚染特論１］		2
地球環境科学総合講義［環境汚染特論２］		2
地球環境科学総合講義［環境変動特論１］		2
地球環境科学総合講義［環境変動特論２］		2
地球環境科学総合講義［圏間相互作用特論１］		2
地球環境科学総合講義［圏間相互作用特論２］		2
地球環境科学総合講義［圏間相互作用特論３］		2
地球環境科学総合講義［圏間相互作用特論４］		2
Ｃ　演習		
環境システム学総合演習Ⅰ	1	
環境システム学総合演習Ⅱ	1	
地圏環境学演習Ⅰ		2
地圏環境学演習Ⅱ		2
地圏環境学演習Ⅲ		2
地圏環境学演習Ⅳ		2
気圏環境学演習Ⅰ		2
気圏環境学演習Ⅱ		2
気圏環境学演習Ⅲ		2
気圏環境学演習Ⅳ		2
水圏環境学演習Ⅰ		2
水圏環境学演習Ⅱ		2
水圏環境学演習Ⅲ		2
水圏環境学演習Ⅳ		2
生物圏環境学演習Ⅰ		2
生物圏環境学演習Ⅱ		2
生物圏環境学演習Ⅲ		2
生物圏環境学演習Ⅳ		2
地球環境情報学演習Ⅰ		2
地球環境情報学演習Ⅱ		2
地球環境情報学演習Ⅲ		2
地球環境情報学演習Ⅳ		2
Ｄ　実験・実習		
地圏環境学実習および実験		2
気圏環境学実習および実験		2

水圏環境学実習および実験		2	
生物圏環境学実習および実験		2	
地球環境情報学実習および実験		2	
E　研究			
地圏環境学研究Ⅰ		2	
地圏環境学研究Ⅱ		2	
気圏環境学研究Ⅰ		2	
気圏環境学研究Ⅱ		2	
水圏環境学研究Ⅰ		2	
水圏環境学研究Ⅱ		2	
生物圏環境学研究Ⅰ		2	
生物圏環境学研究Ⅱ		2	
地球環境情報学研究Ⅰ		2	
地球環境情報学研究Ⅱ		2	

②　地理空間システム学専攻

授業科目	必修	選択	備考
Ⅰ　研究科共通科目群			修了要件 研究科共通科目群の２科目４単位必修、基幹科目群から５科目10単位以上選択必修、総合研究科目群から１科目２単位以上選択必修、環境システム学専攻の総合研究科目群・他研究科授業科目から３科目６単位以内選択、総合演習２科目２単位必修、その他の演習から４科目８単位以上選択必修、野外研究・実地研究から１科目２単位以上選択必修、研究２科目４単位選択必修、合計34単位以上を取得し、修士論文を提出し、審査および最終試験に合格すること。
地球環境科学総論	2		
地理空間システム学総論	2		
Ⅱ　地理空間システム学専攻科目 A　基幹科目群 　1　人文地理学研究分野			
人文地理学特論１		2	
人文地理学特論２		2	
人文地理学特論３		2	
2　自然地理学研究分野			
自然地理学特論１		2	
自然地理学特論２		2	
自然地理学特論３		2	
3　地理教育研究分野			
地理教育特論１		2	
地理教育特論２		2	
地理教育特論３		2	
4　地理情報科学研究分野			
地理情報科学特論１		2	
地理情報科学特論２		2	
地理情報科学特論３		2	
B　総合研究科目群			
地理学・地域研究総合講義		2	
地理教育・地理情報科学総合講義		2	
C　演習			
地理空間システム総合演習Ⅰ	1		
地理空間システム総合演習Ⅱ	1		
人文地理学演習Ⅰ		2	
人文地理学演習Ⅱ		2	
人文地理学演習Ⅲ		2	

人文地理学演習Ⅳ		2	
自然地理学演習Ⅰ		2	
自然地理学演習Ⅱ		2	
自然地理学演習Ⅲ		2	
自然地理学演習Ⅳ		2	
地理教育・地理情報科学演習Ⅰ		2	
地理教育・地理情報科学演習Ⅱ		2	
地理教育・地理情報科学演習Ⅲ		2	
地理教育・地理情報科学演習Ⅳ		2	
D　野外研究・実地研究			
人文地理学野外研究		2	
自然地理学野外研究		2	
地理教育・地理情報科学実地研究		2	
E　研究			
人文地理学研究Ⅰ		2	
人文地理学研究Ⅱ		2	
自然地理学研究Ⅰ		2	
自然地理学研究Ⅱ		2	
地理教育・地理情報科学研究Ⅰ		2	
地理教育・地理情報科学研究Ⅱ		2	

（２）　博士後期課程

地球環境科学研究科は、地球環境に関する高度かつ独創的な学識に基き、地球全体から地域社会に至るさまざまな空間レベルの地球環境変動のしくみを解明し、環境問題の抜本的解決と持続可能な社会の構築に貢献する人材を養成することおよびそのために必要な教育研究を行うことを、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的とする。この目的を達成するため、環境システム学専攻では環境要素間の相互作用やその結果生じる環境変動について、現地調査・実験・理論等を用いて解明し、その成果を環境管理等に応用する視点から、また地理空間システム学専攻では環境変動の諸相とその要因ともなる人間活動を地域空間に即して分析・統合する視点から、それぞれ深く考究する。

①　環境システム学専攻

授業科目	必修	選択	備考
研究指導			修了要件 総合演習３科目３単位必修、また特別研究から６科目12単位を選択必修、合計15単位を取得し、かつ博士論文を提出し、審査および最終試験に合格すること。
A　演習			
環境システム学総合演習Ⅲ	1		
環境システム学総合演習Ⅳ	1		
環境システム学総合演習Ⅴ	1		
B　特別研究			
地圏環境学特別研究Ⅰ		2	
地圏環境学特別研究Ⅱ		2	
地圏環境学特別研究Ⅲ		2	
地圏環境学特別研究Ⅳ		2	
地圏環境学特別研究Ⅴ		2	
地圏環境学特別研究Ⅵ		2	
気圏環境学特別研究Ⅰ		2	
気圏環境学特別研究Ⅱ		2	
気圏環境学特別研究Ⅲ		2	

気圏環境学特別研究Ⅳ		2	
気圏環境学特別研究Ⅴ		2	
気圏環境学特別研究Ⅵ		2	
水圏環境学特別研究Ⅰ		2	
水圏環境学特別研究Ⅱ		2	
水圏環境学特別研究Ⅲ		2	
水圏環境学特別研究Ⅳ		2	
水圏環境学特別研究Ⅴ		2	
水圏環境学特別研究Ⅵ		2	
生物圏環境学特別研究Ⅰ		2	
生物圏環境学特別研究Ⅱ		2	
生物圏環境学特別研究Ⅲ		2	
生物圏環境学特別研究Ⅳ		2	
生物圏環境学特別研究Ⅴ		2	
生物圏環境学特別研究Ⅵ		2	
地球環境情報学特別研究Ⅰ		2	
地球環境情報学特別研究Ⅱ		2	
地球環境情報学特別研究Ⅲ		2	
地球環境情報学特別研究Ⅳ		2	
地球環境情報学特別研究Ⅴ		2	
地球環境情報学特別研究Ⅵ		2	

② 地理空間システム学専攻

授業科目	必修	選択	備考
研究指導			修了要件 総合演習３科目３単位必修、また特別研究から６科目12単位を選択必修、合計15単位を取得し、かつ博士論文を提出し、審査および最終試験に合格すること。
A 演習			
地理空間システム学総合演習Ⅲ	1		
地理空間システム学総合演習Ⅳ	1		
地理空間システム学総合演習Ⅴ	1		
B 特別研究			
人文地理学特別研究Ⅰ		2	
人文地理学特別研究Ⅱ		2	
人文地理学特別研究Ⅲ		2	
人文地理学特別研究Ⅳ		2	
人文地理学特別研究Ⅴ		2	
人文地理学特別研究Ⅵ		2	
自然地理学特別研究Ⅰ		2	
自然地理学特別研究Ⅱ		2	
自然地理学特別研究Ⅲ		2	
自然地理学特別研究Ⅳ		2	
自然地理学特別研究Ⅴ		2	
自然地理学特別研究Ⅵ		2	
地理教育・地理情報科学特別研究Ⅰ		2	
地理教育・地理情報科学特別研究Ⅱ		2	
地理教育・地理情報科学特別研究Ⅲ		2	
地理教育・地理情報科学特別研究Ⅳ		2	
地理教育・地理情報科学特別研究Ⅴ		2	

地理教育・地理情報科学特別研究Ⅵ		2	

7　心理学研究科

心理学研究科は、心理学の基礎知識・技能を基に、これをさらに発展させ、建学の精神を身につけて時代の変化に即応できる柔軟な思考と能力をもつ自立的な研究者・高度な職業専門人を養成することおよびそのために必要な教育研究を行うことを、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的とする。

（1）　修士課程

心理学研究科修士課程では、臨床心理学、または対人・社会心理学分野の高度な専門的知識と技能に基づき、研究・実践上の倫理に配慮し、社会の多様なニーズに応えることができる、高度な職業専門人・研究者を養成することおよびそのために必要な教育研究を行うことを、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的とする。

①　臨床心理学専攻

高度の心理学的援助者として各種の実践活動を行い、かつ臨床心理学的研究をも担うことのできる人材を育成する。

授業科目	必修	選択	備考
臨床心理学特論Ⅰ	2		修了要件 必修14科目27単位、Ａ群からＥ群より各群２単位以上、合計37単位以上を取得し、かつ修士論文を提出し、審査に合格すること。 修士論文の内容が臨床心理学に関するものであること。
臨床心理学特論Ⅱ	2		
臨床心理面接特論Ⅰ［心理支援に関する理論と実践］	2		
臨床心理面接特論Ⅱ	2		
臨床心理査定演習Ⅰ［心理的アセスメントに関する理論と実践］	2		
臨床心理査定演習Ⅱ	2		
臨床心理基礎実習	2		
臨床心理学演習Ⅰ	2		
臨床心理学演習Ⅱ	2		
心理実践実習Ⅰ	2		
臨床心理実習Ⅰ［心理実践実習Ⅱ］	2		
臨床心理実習Ⅱ	1		
臨床心理学基礎演習Ⅰ	2		
臨床心理学基礎演習Ⅱ	2		
Ａ群			
臨床心理学研究法特論		2	
心理統計法特論		2	
心理学研究法特論		2	
Ｂ群			
発達臨床心理学特論［福祉分野に関する理論と支援の展開Ⅰ］		2	
人格心理学特論		2	
Ｃ群			
家族心理学特論［家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践Ⅱ］		2	
犯罪心理学特論［司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開］		2	
Ｄ群			
精神医学特論［保健医療分野に関する理論		2	

と支援の展開Ⅰ］			
障害児・者心理学特論［福祉分野に関する理論と支援の展開Ⅱ］		2	
神経生理学特論［保健医療分野に関する理論と支援の展開Ⅱ］		2	
E群			
臨床福祉心理学特論		2	
投映法特論		2	
関連科目			
コミュニティ心理支援特論［家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践Ⅰ］		2	
教育分野に関する理論と支援の展開		2	
心の健康教育に関する理論と実践		2	
産業・労働分野に関する理論と支援の展開		2	

② 対人・社会心理学専攻

対人・社会心理学に関する専門的な知識・技能を基に、実社会に貢献できる高度な専門職業人を育成する。

授業科目	必修	選択	備考
選択必修科目			修了要件 選択必修科目から８単位以上、選択科目から20単位以上、合計30単位以上を取得し、かつ修士論文を提出し、審査に合格すること。
コミュニケーション心理学演習Ⅰ		2	
コミュニケーション心理学演習Ⅱ		2	
コミュニケーション心理学演習Ⅲ		2	
コミュニケーション心理学演習Ⅳ		2	
発達社会心理学演習Ⅰ		2	
発達社会心理学演習Ⅱ		2	
発達社会心理学演習Ⅲ		2	
発達社会心理学演習Ⅳ		2	
産業組織心理学演習Ⅰ		2	
産業組織心理学演習Ⅱ		2	
産業組織心理学演習Ⅲ		2	
産業組織心理学演習Ⅳ		2	
集団心理学演習Ⅰ		2	
集団心理学演習Ⅱ		2	
集団心理学演習Ⅲ		2	
集団心理学演習Ⅳ		2	
社会問題研究演習Ⅰ		2	
社会問題研究演習Ⅱ		2	
社会問題研究演習Ⅲ		2	
社会問題研究演習Ⅳ		2	
消費者心理学演習Ⅰ		2	
消費者心理学演習Ⅱ		2	
消費者心理学演習Ⅲ		2	
消費者心理学演習Ⅳ		2	
社会言語学演習Ⅰ		2	

社会言語学演習Ⅱ		2	
社会言語学演習Ⅲ		2	
社会言語学演習Ⅳ		2	
コミュニティ心理学演習Ⅰ		2	
コミュニティ心理学演習Ⅱ		2	
コミュニティ心理学演習Ⅲ		2	
コミュニティ心理学演習Ⅳ		2	
臨床社会心理学演習Ⅰ		2	
臨床社会心理学演習Ⅱ		2	
臨床社会心理学演習Ⅲ		2	
臨床社会心理学演習Ⅳ		2	
自己心理学演習Ⅰ		2	
自己心理学演習Ⅱ		2	
自己心理学演習Ⅲ		2	
自己心理学演習Ⅳ		2	
選択科目			
社会調査実習		2	
質的研究実習		2	
多変量解析実習		2	
コミュニケーション心理学特論		2	
発達社会心理学特論		2	
認知社会心理学特論		2	
自己心理学特論		2	
対人感情研究特論		2	
臨床社会心理学特論		2	
産業組織心理学特論		2	
集団心理学特論		2	
社会問題研究特論		2	
消費者心理学特論		2	
コミュニティ心理学特論		2	
社会言語学特論		2	
対人・社会心理学特別講義		2	

（２）　博士後期課程

心理学研究科博士課程では、心理学にかかわる諸領域の高度な専門的知識と技能に基づき、研究倫理を遵守し、社会の変化に即応した課題解決を導くことができる研究者・高度な職業専門人を養成することおよびそのために必要な教育研究を行うことを、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的とする。

①　心理学専攻

心理学およびその関連領域に関する最新の専門知識を持ち、これらの領域において独創的・開拓的研究を行うことのできる研究者を育成する。

授業科目	選択必修	備考
Ａ．研究演習科目群		修了要件
行動心理学研究演習Ⅰ	4	３年間にわたって指導教授
行動心理学研究演習Ⅱ	4	が担当するＡ．研究演習科
行動心理学研究演習Ⅲ	4	目群から12単位を取得する
危機支援研究演習Ⅰ	4	こと。また、Ｂ．特殊研究

危機支援研究演習Ⅱ	4	科目群から選択必修４単位以上を取得し、合計16単位以上を取得すること。かつ博士論文を提出し、審査に合格すること。
危機支援研究演習Ⅲ	4	
社会問題研究演習Ⅰ	4	
社会問題研究演習Ⅱ	4	
社会問題研究演習Ⅲ	4	
障害児・者心理学研究演習Ⅰ	4	
障害児・者心理学研究演習Ⅱ	4	
障害児・者心理学研究演習Ⅲ	4	
認知行動臨床心理学研究演習Ⅰ	4	
認知行動臨床心理学研究演習Ⅱ	4	
認知行動臨床心理学研究演習Ⅲ	4	
産業組織心理学研究演習Ⅰ	4	
産業組織心理学研究演習Ⅱ	4	
産業組織心理学研究演習Ⅲ	4	
集団心理学研究演習Ⅰ	4	
集団心理学研究演習Ⅱ	4	
集団心理学研究演習Ⅲ	4	
異常心理学研究演習Ⅰ	4	
異常心理学研究演習Ⅱ	4	
異常心理学研究演習Ⅲ	4	
発達社会心理学研究演習Ⅰ	4	
発達社会心理学研究演習Ⅱ	4	
発達社会心理学研究演習Ⅲ	4	
臨床心理学研究演習Ⅰ	4	
臨床心理学研究演習Ⅱ	4	
臨床心理学研究演習Ⅲ	4	
臨床社会心理学研究演習Ⅰ	4	
臨床社会心理学研究演習Ⅱ	4	
臨床社会心理学研究演習Ⅲ	4	
健康・医療心理学研究演習Ⅰ	4	
健康・医療心理学研究演習Ⅱ	4	
健康・医療心理学研究演習Ⅲ	4	
Ｂ．特殊研究科目群		
臨床心理学特殊研究Ⅰ	2	
臨床心理学特殊研究Ⅱ	2	
行動心理学特殊研究Ⅰ	2	
行動心理学特殊研究Ⅱ	2	
認知行動臨床心理学特殊研究Ⅰ	2	
認知行動臨床心理学特殊研究Ⅱ	2	
異常心理学特殊研究Ⅰ	2	
異常心理学特殊研究Ⅱ	2	
障害児・者心理学特殊研究Ⅰ	2	
障害児・者心理学特殊研究Ⅱ	2	
発達社会心理学特殊研究Ⅰ	2	
発達社会心理学特殊研究Ⅱ	2	

産業組織心理学特殊研究Ⅰ	2	
産業組織心理学特殊研究Ⅱ	2	
危機支援特殊研究Ⅰ	2	
危機支援特殊研究Ⅱ	2	
社会問題特殊研究Ⅰ	2	
社会問題特殊研究Ⅱ	2	
集団心理学特殊研究Ⅰ	2	
集団心理学特殊研究Ⅱ	2	
コミュニケーション心理学特殊研究Ⅰ	2	
コミュニケーション心理学特殊研究Ⅱ	2	
臨床社会心理学特殊研究Ⅰ	2	
臨床社会心理学特殊研究Ⅱ	2	
健康・医療心理学特殊研究Ⅰ	2	
健康・医療心理学特殊研究Ⅱ	2	

第６条の３　次の研究科では、夜間その他特定の時間または時期において授業または研究指導を行うことができる。

文学研究科	仏教学専攻	修士課程
	英米文学専攻	修士課程
	社会学専攻	修士課程
	史学専攻	修士課程
	国文学専攻	修士課程
	哲学専攻	修士課程
経済学研究科	経済学専攻	修士課程および博士後期課程
法学研究科	法学専攻	修士課程
経営学研究科	経営学専攻	修士課程
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	修士課程および博士後期課程
	教育福祉学専攻	修士課程
地球環境科学研究科	環境システム学専攻	修士課程および博士後期課程
	地理空間システム学専攻	修士課程および博士後期課程
心理学研究科	臨床心理学専攻	修士課程
	対人・社会心理学専攻	修士課程
	心理学専攻	博士後期課程

第７条　本大学院の学生は、指導教授の指導の下に、毎学年の初めに、当該学年において履修すべき授業科目を選定しなければならない。ただし、当該研究科委員会が認めた場合には、第２期の始めに限り、追加履修することができる。

第８条　修士課程の指導教授は、必要があると認めるときは、所属の学生に対し、所定の授業科目以外に研究科の他の専攻部門、または学部に設けられた授業科目を指定して、これを履修させることができる。

第８条の２　大学院において教育研究上有益と認めるときは、他研究科または他大学の大学院（外国の大学の大学院を含む）と予め協議のうえ、他研究科または当該他大学の大学院の授業科目を本学大学院の学生に履修させ、また当該他大学の大学院の学生に本学大学院の授業科目を履修させることができる。

２　前項の規定により履修した授業科目の単位は、15単位を超えない範囲で、かつ第８条の３に定める単位と合わせて20単位を超えない範囲で、本学において履修したものとみなすことができる。

第８条の３　大学院研究科委員会が教育上有益と認めるときは、本学学生に本学大学院の授業科目を履修させ、単位を修得させることができる。
２　当該学生が本学大学院に入学した場合には、前項の規定により修得した単位を、15単位をこえない範囲で、かつ第８条の２に定める単位と合わせて20単位を超えない範囲で、本学大学院における授業科目の履修により修得したものとみなし、修了必要単位数に算入することができる。
第８条の４　授業科目の一部を多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で開設し、履修させることができる。
第９条　修士課程の修了要件は、大学院に２年（２年以外の標準修業年限を定める研究科、専攻または学生の履修区分にあっては、当該標準修業年限）以上在学し、所定の授業科目について30単位以上を取得し、かつ必要な研究指導をうけたうえ、修士論文の審査および最終試験に合格することとする。
２　前項の場合において、大学院研究科委員会が修士課程の目的に応じて適当と認めたときは、特定の課題についての研究の成果の審査をもって修士論文の審査に代えることができる。
３　大学院研究科委員会が特に優れた業績を上げたと認めた者については、１年以上在学すれば足りるものとする。
４　第８条の３による履修に要した期間等を勘案し、１年を超えない範囲で大学院研究科委員会が認めた期間については、当該期間を在学したものとみなすことができる。ただし、この場合においても、大学院に少なくとも１年以上在学するものとする。
第９条の２　教員の免許状授与の所要資格を取得しようとする者は、第９条に定めるほか教育職員免許法および教育職員免許法施行規則に定める所要の単位を修得しなければならない。
２　研究科の各専攻において当該所要資格を取得できる教員の免許状の種類は次の表に掲げるとおりとする。

研究科・専攻		高等学校教諭専修免許状	中学校教諭専修免許状
		教科	教科
文学研究科	仏教学専攻	宗教・公民	宗教・社会
	英米文学専攻	英語	英語
	社会学専攻	公民	社会
	史学専攻	地理歴史	社会
	国文学専攻	国語・書道	国語
	哲学専攻	公民	社会
経済学研究科	経済学専攻	公民	社会
法学研究科	法学専攻	公民	社会
経営学研究科	経営学専攻	商業	
地球環境科学研究科	環境システム学専攻	理科・情報	理科
	地理空間システム学専攻	地理歴史	社会
心理学研究科	臨床心理学専攻	公民	

研究科・専攻		免許状の種類
社会福祉学研究科	教育福祉学専攻	幼稚園教諭専修免許状　小学校教諭専修免許状

第10条　博士課程の修了要件は次のとおりとする。
（１）　大学院に５年（修士課程を修了した者にあっては、当該課程における２年の在学期間を含む）以上在学し、30単位以上を取得し、かつ必要な研究指導を受けたうえ、博士論文の審査および最終試験に合格することとする。
（２）　前号の規定にもかかわらず研究科・専攻によっては、博士後期課程の授業科目について別に定める所定の単位を修得しなければならない。

第３章　試験・論文審査・学位授与

第11条　大学において授与する学位は、次の区分による。

研究科	専攻	修士課程	博士課程
文学研究科	仏教学専攻 英米文学専攻 社会学専攻 史学専攻 国文学専攻 哲学専攻	修士（文学） 修士（文学） 修士（社会学） 修士（文学） 修士（文学） 修士（文学）	博士（文学） 博士（文学） 博士（社会学） 博士（文学） 博士（文学） 博士（文学）
経済学研究科	経済学専攻	修士（経済学）	博士（経済学）
法学研究科	法学専攻	修士（法学）	
経営学研究科	経営学専攻	修士（経営学）	
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻 教育福祉学専攻	修士（社会福祉学） 修士（教育福祉学）	博士（社会福祉学）
地球環境科学研究科	環境システム学専攻 地理空間システム学専攻	修士（理学） 修士（地理学）	博士（理学） 博士（地理学）
心理学研究科	臨床心理学専攻 対人・社会心理学専攻 心理学専攻	修士（心理学） 修士（心理学）	博士（心理学）

第12条　修士の学位は、第９条の規定により、修士課程を修了した者に授与する。

第13条　博士の学位は、第10条の規定により、博士課程を修了した者に授与する。

第14条　授業科目に関する試験は、毎学年末、または各研究科委員会が適当と認める時期に、その定める方法によって、これを行なう。

第15条　学位論文の提出期限および受理に関しては、各研究科委員会がこれを定める。

第16条　修士の学位論文の審査および最終試験は、各研究科委員会の定める２名以上の審査員が、これを行なう。

第17条　修士の学位に関する最終試験は、審査員が学位論文について試問の方法によって、これを行なう。

第18条　第16条の審査員は、学位論文の審査および最終試験の結果を当該研究科委員会に報告しなければならない。

第19条　修士の学位論文は、前条の審査報告に基づき、当該研究科委員会が当該専攻分野において精深な学識と研究能力を有すると認めたものをもって合格とする。

第20条　博士の学位論文の審査および最終試験は、当該研究科委員会の定める審査員が、これを行なう。

２　前項の審査員には指導教授のほか、論文に関係ある分野を専攻する本大学院の教員２名以上を加えなければならない。

第21条　前条の審査員は、学位論文の審査および最終試験の結果を記載した審査報告書を当該研究科委員会に提出しなければならない。

第22条　博士の学位に関する最終試験は、審査員が学位論文を中心とし、広く関連分野にわたって試問の方法によって、これを行なう。

第23条　博士の学位論文は、当該研究科委員会が審査員の審査報告に基づいて、その研究が専攻分野について、研究者として自立して研究活動を行なうに必要な高度の研究能力およびその基礎となる豊かな学識を有すると認められたものをもって合格とする。

第24条　本大学院の博士課程を経ないで論文を提出して博士の学位を請求した者については、その論文が第13条の規定により学位の授与を受ける者の学位論文と同等以上の内容をもち、かつ専攻学術に関し、同様に広い学識を有すると認定された場合に学位を授与することができる。

第25条　前条の規定により学位を請求する者は、学位申請書に学位論文３通・履歴書・その他必要資料ならびに別に定める審査手数料を添え提出しなければならない。

第26条　前条の学位論文の受理は、当該研究科委員会が、これを行なう。

第27条　第24条の規定による学位論文の審査ならびに学力の確認は、当該研究科委員会で選定された３名以上の審査員によって、これを行なう。
第28条　第20条ならびに第27条の規定による学位論文の審査員は、受理後１年以内に論文の審査および最終試験、または学力確認の結果を記載した審査報告書を、当該研究科委員会に提出しなければならない。
第29条　本大学において博士の学位を授与した時は、３ヶ月以内に、その論文審査の要旨を、大学が適当と認める方法によって公表する。
第30条　本大学において博士の学位を授与された者は、１年以内に「立正大学審査学位論文」と明記して、その論文の全文を立正大学学術機関リポジトリにより公表するものとする。ただし、やむを得ない事由がある場合は、本大学の承認を受けて、当該論文の内容の要約を公表するものとする。

第４章　教員ならびに運営組織

第31条　本大学院における授業担当の教員は、本大学学部の教員（教授、准教授および講師）またはこれに準ずる者の中から各研究科委員会が選考し、学長がこれを委嘱する。
第32条　本大学院研究科の各専攻に主任教授を置く。
第33条　本大学院研究科に研究科委員会を置く。
２　各研究科委員会は研究科授業担当の当該学部教員を委員として組織する。
３　必要のある場合は、前項以外の教員を臨時に出席させることができる。
４　研究科委員会の委員の選考については、必要に応じて各研究科で定めることができる。
第34条　本大学院研究科に研究科長を置く。
２　各研究科長は当該研究科委員会において互選し、学長がこれを任命する。
３　研究科長の任期は３年とする。ただし、再任は妨げない。
４　各研究科長は当該研究科委員会を招集し、その議長となる。
第34条の２　本大学院に学長の諮問機関として研究科長会議をおく。
２　研究科長会議は、学長、研究科長をもって組織する。
第35条　各研究科委員会に、研究科長を補佐するため常務委員若干名を置く。
２　常務委員は委員の中から当該委員会の議を経て学長が委嘱する。
３　常務委員の任期は３年とする。ただし、再任は妨げない。
第36条　各研究科委員会は、定員の過半数の出席で成立する。
２　審議事項の議決には、出席委員の過半数の同意を必要とする。
第37条　研究科委員会は、次の事項を審議する。
（１）　学生の入学、課程の修了
（２）　学位の授与
（３）　前２号に定めるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、研究科委員会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定める次に掲げる事項
ア　授業科目担当教員に関する事項
イ　研究科委員の選考に関する事項
ウ　学生の転学・休学・退学・除籍等に関する事項
エ　試験に関する事項
オ　学位論文の審査に関する事項
カ　学生の指導および賞罰に関する事項
キ　その他教育研究に関する必要な事項
ク　学長の諮問事項
２　研究科委員会の審議に付された事項に係る決定は、学長が行う。
第38条　本大学に大学院運営のため大学院運営委員会を置く。
２　大学院運営委員会は学長・副学長・各研究科長および各研究科より選出された委員各２名をもって組織する。
第39条　大学院運営委員会の委員長は、学長がこれを兼ねる。
第40条　学長は大学院運営委員会を招集し、その議長となる。
２　学長事故あるときは、副学長がこれに代わる。
第41条　大学院運営委員会は、定員の３分の２以上の出席で成立する。

２　審議事項の議決には、出席委員の３分の２以上の同意を必要とする。
第42条　大学院運営委員会は、次の事項を審議する。
（１）　大学院基準の達成に関する事項
（２）　大学院研究科、その課程および専攻部門の設置・改廃に関する事項
（３）　各研究科に共通する事項
（４）　研究科間の調整に関する事項
（５）　大学院の学則および諸規程の変更に関する事項
（６）　その他の大学院の運営に関する重要事項
２　大学院運営委員会の審議に付された事項に係る決定は、学長が行う。
第43条　本大学院に関する事務処理のため事務職員若干名を置く。

第５章　学年および休日

第44条　本大学院の学年および休日に関する事項は、立正大学学則を準用する。

第６章　入学・退学・休学・転学・除籍

第45条　本大学院の入学の時期は、毎学年の始めとする。
第46条　本大学院の修士課程に入学することのできる者は、次の各号の一つに該当する資格を有し、かつ入学試験に合格したものでなければならない。
（１）　学校教育法第102条に定める大学を卒業した者
（２）　外国において学校教育における16年の課程を修了した者
ただし、大学教育修了までの学校教育の課程が15年である国においては、優れた成績をあげて大学教育を修了したと、本大学院において認めた者
（３）　学校教育法施行規則第155条第１項の規定に基づき文部科学大臣の指定した者
（４）　本大学院において学校教育法第102条に定める大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
（５）　学校教育法第104条第７項第１号により大学改革支援･学位授与機構から学士の学位を授与された者
第47条　本大学院の博士後期課程に入学することのできる者は、次の各号の一つに該当する資格を有し、かつ入学試験に合格した者でなければならない。
（１）　修士の学位を有する者
（２）　外国において修士の学位、またはこれに該当する学位を有する者
（３）　大学を卒業し、または外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、２年以上研究に従事した者で、本大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
第48条　入学志願者は、所定の期日までに、所定の書式により、入学願書その他の出願書類を提出し、所定の入学検定料を納入しなければならない。
第49条　入学を許可された者は、在学誓書および住民票に、入学金および授業料、その他所定の学費を添えて、定められた期日までに提出しなければならない。ただし、納入方法は別に定める学費納入規程による。
２　在学生は別表第２による学費（入学金を除く）を毎年度所定の期日までに納入しなければならない。ただし、納入方法は別に定める学費納入規程による。
第50条　本大学院の学生で、病気その他の理由により、休学または退学しようとする者は、その理由を具し、保証人連署で願い出なければならない。
第51条　休学は当該学期末までとする。ただし、特別の事情がある場合は、願い出により、当該研究科の議を経て、連続して２カ年（４学期）まで認めることができる。
２　休学期間は、修士課程においては通算して２カ年（４学期）、博士後期課程においては３カ年（６学期）を超えることができない。
３　休学期間は在学年限に算入しない。
４　休学の事由が消滅したときは復学届を提出しなければならない。
５　休学中の学費は別に定める学費納入規程による。
第52条　他の大学の大学院から本大学院へ、また本大学院から他の大学院へ転学を希望する者があるときは、当該研究科委員会の議を経て、これを許可することができる。

第53条　退学した者および除籍した者が再入学を願い出た場合には、当該研究科の議を経て、これを許可することができる。
２　再入学者の在学上限年数は、修士課程においては４年から従前に在学した年数（学期）を除いた年数（学期）とし、博士後期課程においては６年から従前に在学した年数（学期）を除いた年数（学期）とする。
３　前項の他、再入学に関し必要な事項は、別に定める細則によるものとする。

第７章　学費

第54条　本大学院の入学検定料・授業料・入学金・その他学費は、別表第１・２のとおりとする。
２　９月修了申請者の学費は学費納入規程による。

第８章　研究生・委託生・外国人留学生・科目等履修生

第55条　研究生・委託生・外国人留学生・科目等履修生については、別に定める規程により、当該研究科委員会の議を経て入学または受講を許可することができる。
２　研究生として入学を許可されたものは、別表第３所定の研究指導料を納入しなければならない。
３　委託生として入学を許可されたものは、別表第４所定の研究指導料を納入しなければならない。
４　科目等履修生として受講を許可されたものは､別表第５所定の受講料を納入しなければならない。
５　本学則第８条の３に基づく学部学生の履修に係る受講料については、別に定めるものとする。

第９章　賞罰

第56条　本大学において修士、または博士の学位を授与された者に、次の事実があったときは、当該研究科委員会の議を経て、その学位を取り消すことができる。
（１）　不正の方法によって学位の授与を受けた事実が判明したとき
（２）　名誉を汚辱する行為があったとき
第57条　その他、大学院に関し、本学則に定めない事項については、立正大学学則を準用し、当該研究科委員会の議を経て、これを処理する。

附　則

本学則は昭和25年４月５日から施行する。
昭和29年９月27日改正、昭和30年４月１日施行
昭和30年11月10日改正、昭和31年４月１日施行
昭和37年11月10日改正、昭和38年４月１日施行
昭和39年10月10日改正、昭和40年４月１日施行
昭和41年10月10日改正、昭和42年４月１日施行
昭和42年10月10日改正、昭和43年４月１日施行
昭和43年10月10日改正、昭和44年４月１日施行
昭和47年２月１日改正、昭和47年４月１日施行
昭和50年３月31日改正、昭和50年４月１日施行
昭和51年３月12日改正、昭和51年４月１日施行
昭和51年10月１日改正、昭和52年４月１日施行
昭和57年３月３日改正、昭和57年４月１日施行
昭和57年11月８日改正、昭和58年４月１日施行
昭和58年２月17日改正、昭和58年４月１日施行
昭和58年11月26日改正、昭和59年４月１日施行
昭和59年１月31日改正、昭和59年４月１日施行
昭和59年11月14日改正、昭和60年４月１日施行
昭和60年５月29日改正、昭和61年４月１日施行
昭和60年10月９日改正、昭和61年４月１日施行
昭和60年11月30日改正、昭和61年４月１日施行
昭和61年12月17日改正、昭和62年４月１日施行
昭和62年２月25日改正、昭和62年４月１日施行
昭和62年12月23日改正、昭和63年４月１日施行
昭和63年４月９日改正、昭和63年４月１日施行
平成元年１月30日改正、平成元年４月１日施行

平成元年６月28日改正、平成２年４月１日施行
平成２年１月30日改正、平成２年４月１日施行
平成２年３月28日改正、平成２年４月１日施行
平成２年12月17日改正、平成３年４月１日施行
平成３年12月20日改正、平成３年12月20日施行
平成３年12月20日改正、平成４年４月１日施行
平成４年11月30日改正、平成５年４月１日施行
平成５年４月26日改正、平成５年４月26日施行
平成５年10月25日改正、平成５年10月25日施行
平成５年10月25日改正、平成６年４月１日施行
平成６年２月28日改正、平成６年４月１日施行
平成６年６月１日改正、平成７年４月１日施行
平成６年７月９日改正、平成７年４月１日施行
平成６年10月24日改正、平成７年４月１日施行
平成６年12月13日改正、平成７年４月１日施行
平成７年３月29日改正、平成７年４月１日施行
平成７年10月31日改正、平成８年４月１日施行
平成８年３月20日改正、平成８年３月20日施行
平成８年12月２日改正、平成９年４月１日施行
平成９年３月26日改正、平成９年４月１日施行
平成９年５月26日改正、平成９年12月19日施行
平成９年12月８日改正、平成10年４月１日施行
平成10年３月30日改正、平成10年４月１日施行
平成10年12月14日改正、平成11年４月１日施行
平成11年３月30日改正、平成11年４月１日施行
平成11年５月29日改正、平成12年４月１日施行
平成11年10月25日改正、平成12年４月１日施行
平成11年12月13日改正、平成12年４月１日施行
平成12年７月31日改正、平成13年４月１日施行
平成13年５月28日改正、平成13年５月28日施行
平成13年10月29日改正、平成14年４月１日施行
平成14年２月27日改正、平成14年４月１日施行
ただし、学則第９条の２による、地球環境科学研究科環境システム学専攻の高等学校教諭専修免許状「情報」については、平成13年度入学生より適用する。
平成15年１月29日改正、平成15年４月１日施行
平成15年10月１日改正、平成16年４月１日施行
平成16年１月28日改正、平成16年４月１日施行
平成16年10月27日改正、平成17年４月１日施行
平成17年２月28日改正、平成17年４月１日施行
平成17年３月22日改正、平成18年４月１日施行
平成17年７月27日改正、平成18年４月１日施行
平成17年11月28日改正、平成17年10月１日施行
平成17年12月21日改正、平成17年12月１日施行
平成18年２月27日改正、平成18年４月１日施行
平成18年11月27日改正、平成19年４月１日施行
平成18年12月20日改正、平成19年４月１日施行
平成19年３月19日改正、平成19年４月１日施行
平成19年４月23日改正、平成20年４月１日施行
平成19年７月30日改正、平成19年４月１日施行
平成19年11月28日改正、平成20年４月１日施行

平成20年１月30日改正、平成20年４月１日施行
平成20年２月27日改正、平成20年４月１日施行
平成20年５月21日改正、平成21年４月１日施行
平成20年７月30日改正、平成20年７月30日施行
平成20年12月22日改正、平成20年４月１日施行
平成20年12月22日改正、平成21年４月１日施行
平成20年12月22日改正、平成22年４月１日施行
平成21年３月26日改正、平成21年４月１日施行
平成21年11月30日改正、平成22年４月１日施行
平成21年12月22日改正、平成22年４月１日施行
平成22年２月24日改正、平成22年４月１日施行
平成22年10月27日改正、平成23年４月１日施行
平成22年10月27日改正、平成24年４月１日施行
平成22年12月22日改正、平成23年４月１日施行
平成23年３月25日改正、平成23年４月１日施行
平成23年６月22日改正、平成24年４月１日施行
平成23年10月26日改正、平成24年４月１日施行
平成23年11月30日改正、平成24年４月１日施行
平成24年10月31日改正、平成25年４月１日施行
平成24年11月28日改正、平成25年４月１日施行
平成24年12月19日改正、平成25年４月１日施行
平成25年１月30日改正、平成25年４月１日施行
平成25年10月30日改正、平成25年10月30日施行
平成25年10月30日改正、平成26年４月１日施行
平成25年11月30日改正、平成26年４月１日施行
平成25年12月25日改正、平成26年４月１日施行
平成25年12月25日改正、平成27年４月１日施行
平成26年３月19日改正、平成26年４月１日施行
平成26年５月28日改正、平成27年４月１日施行
平成26年10月29日改正、平成27年４月１日施行
平成26年11月26日改正、平成27年４月１日施行
平成27年１月28日改正、平成27年４月１日施行
平成27年２月25日改正、平成27年４月１日施行
平成27年３月18日改正、平成27年４月１日施行
平成27年３月18日改正、平成28年４月１日施行
平成27年６月24日改正、平成28年４月１日施行
平成27年９月30日改正、平成28年４月１日施行
平成27年10月28日改正、平成28年４月１日施行
平成27年11月30日改正、平成28年４月１日施行
平成27年12月22日改正、平成28年４月１日施行

１　平成28年10月26日改正、平成29年４月１日施行

２　ただし、平成28年度までに入学した経営学研究科の学生については、従前の学則を適用する。

平成28年11月30日改正、平成29年４月１日施行
平成28年12月21日改正、平成29年４月１日施行
平成29年３月24日改正、平成29年４月１日施行
平成29年11月29日改正、平成30年４月１日施行
平成29年12月27日改正、平成30年４月１日施行
平成30年12月26日改正、平成31年４月１日施行
平成31年１月31日改正、平成31年４月１日施行
平成31年２月27日改正、平成31年４月１日施行

令和元年７月31日改正、令和２年４月１日施行
令和元年10月30日改正、令和２年４月１日施行
令和元年11月27日改正、令和２年４月１日施行
令和２年２月26日改正、令和２年４月１日施行
令和２年３月25日改正、令和２年４月１日施行
令和２年６月24日改正、令和３年４月１日施行
令和２年10月28日改正、令和３年４月１日施行
令和２年11月30日改正、令和３年４月１日施行
令和２年12月23日改正、令和３年４月１日施行
令和３年11月29日改正、令和４年４月１日施行
令和３年12月22日改正、令和３年４月１日施行
ただし、学則第８条の４第２項「前項による授業を履修し、取得した単位のうち、８単位を限度として修了必要単位数に算入することができる。」の削除については、令和２年度より適用する。
令和３年12月22日改正、令和４年４月１日施行
令和４年11月30日改正、令和５年４月１日施行
令和４年12月21日改正、令和５年４月１日施行
令和５年10月25日改正、令和６年４月１日施行
令和５年11月29日改正、令和６年４月１日施行
令和５年12月25日改正、令和６年４月１日施行
ただし、令和５年度までに入学した心理学研究科応用心理学専攻の学生については、従前の学則を適用する。

別表第１

種別	入学年度	金額
入学検定料	平成７年度以降	35,000円

別表第２

種別	適用研究科	入学年度	金額
入学金	全研究科	令和６年度	250,000円
授業料	全研究科	平成29年度以降	563,000円
施設設備資金	全研究科	平成29年度以降	120,000円
教育充実費	文学・経営学研究科	平成29年度以降	3,000円
	経済学研究科	令和元年度以降	30,000円
	法学研究科	令和４年度	3,000円
		令和５年度以降	15,000円
	社会福祉学研究科	平成30年度以降	35,000円
	地球環境科学研究科 環境システム学専攻	令和３年度以降	5,000円
	地球環境科学研究科 地理空間システム学専攻	令和２年度以降	35,000円
	心理学研究科	令和元年度	70,000円
		令和２年度以降	100,000円
実験実習料	地球環境科学研究科 環境システム学専攻	令和３年度以降	170,000円

	地球環境科学研究科 地理空間システム学専攻	令和２年度以降	60,000円

備考

１　上記の表における授業料・施設設備資金・教育充実費および実験実習料については、その在学期間中毎学年度徴収する。

２　大学院学則第３条第１項および第９条第１項に基づくものの学費等は、これを別に定める。

別表第３

種別	入学年度	通年	６ケ月
研究指導料	昭和62年度以降	120,000円	60,000円

別表第４

種別	入学年度	通年
研究指導料	昭和53年度以降	120,000円

別表第５

種別	入学年度	科目数	通年
受講料	昭和56年度以降	１科目	当該年度の授業料の1/10相当額 （千円未満四捨五入）

立正大学大学院学則の変更事項を記載した書類

■第４条第１項
　心理学研究科修士課程応用心理学専攻の廃止に伴い、当該専攻にかかる文言を削除した。

■第５条第１項
　心理学研究科修士課程応用心理学専攻の廃止に伴い、表中の当該専攻にかかる文言を削除した。

■第６条の２第１項第１号
　文学研究科修士課程のカリキュラム改正に伴い、「（ロ）授業科目」の「②英米文学専攻」にかかる表中の授業科目に追加と削除を行うとともに、修了要件を変更した。

■第６条の２第１項第１号
　文学研究科修士課程のカリキュラム改正に伴い、「（ロ）授業科目」の「⑤国文学専攻」にかかる表中の授業科目に科目の追加と削除を行った。

■第６条の２第１項第２号
　文学研究科博士後期課程のカリキュラム改正に伴い、「（ロ）授業科目」の「②英米文学専攻」にかかる表中の授業科目に科目の追加と削除を行った。

■第６条の２第７項第１号
　心理学研究科修士課程応用心理学専攻の廃止に伴い、当該専攻にかかる文言を削除し、「③対人・社会心理学専攻」を「②対人・社会心理学専攻」に繰り上げた。

■第６条の３
　心理学研究科修士課程応用心理学専攻の廃止に伴い、当該専攻にかかる文言を削除した。

■第９条の２第２項
　心理学研究科修士課程応用心理学専攻の廃止に伴い、表中の当該専攻にかかる文言を削除した。

■第 11 条
　心理学研究科修士課程応用心理学専攻の廃止に伴い、表中の当該専攻にかかる文言を削除した。

■附則

今回の変更にかかる改正日、施行日等を追加した。

■別表第２

学費改定に伴い、表中の入学年度欄を修正した。

以上

新旧対照表

立正大学大学院学則

新	旧
立正大学大学院学則 昭和25年４月５日 制定 （前略） 第４条　本大学院に次の研究科を設け、それぞれに次の専攻を置く。 文学研究科　仏教学専攻 英米文学専攻 社会学専攻 史学専攻 国文学専攻 哲学専攻 経済学研究科　経済学専攻 法学研究科　法学専攻 経営学研究科　経営学専攻 社会福祉学研究科　社会福祉学専攻 教育福祉学専攻 地球環境科学研究科　環境システム学専攻 地理空間システム学専攻 心理学研究科　臨床心理学専攻 （削除） 対人・社会心理学専攻 心理学専攻 ２　文学研究科は博士課程とする。 ３　経済学研究科は博士課程とする。 ４　法学研究科は修士課程とする。	立正大学大学院学則 昭和25年４月５日 制定 （前略） 第４条　本大学院に次の研究科を設け、それぞれに次の専攻を置く。 文学研究科　仏教学専攻 英米文学専攻 社会学専攻 史学専攻 国文学専攻 哲学専攻 経済学研究科　経済学専攻 法学研究科　法学専攻 経営学研究科　経営学専攻 社会福祉学研究科　社会福祉学専攻 教育福祉学専攻 地球環境科学研究科　環境システム学専攻 地理空間システム学専攻 心理学研究科　臨床心理学専攻 応用心理学専攻 対人・社会心理学専攻 心理学専攻 ２　文学研究科は博士課程とする。 ３　経済学研究科は博士課程とする。 ４　法学研究科は修士課程とする。

新

5　経営学研究科は修士課程とする。
6　社会福祉学研究科は博士課程とする。
7　地球環境科学研究科は博士課程とする。
8　心理学研究科は博士課程とする。

第５条　本大学院の収容定員は、次のとおりとする。

1　修士課程

研究科別	専攻別	入学定員	収容定員
文学研究科	仏教学専攻	10名	20名
	英米文学専攻	10名	20名
	社会学専攻	10名	20名
	史学専攻	10名	20名
	国文学専攻	10名	20名
	哲学専攻	６名	12名
経済学研究科	経済学専攻	10名	20名
法学研究科	法学専攻	10名	20名
経営学研究科	経営学専攻	10名	20名
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	６名	12名
	教育福祉学専攻	４名	８名
地球環境科学研究科	環境システム学専攻	10名	20名
	地理空間システム学専攻	８名	16名
心理学研究科	臨床心理学専攻	10名	20名
	（削除）	（削除）	（削除）
	対人・社会心理学専攻	５名	10名
地球環境科学研究科	環境システム学専攻	４名	12名
	地理空間システム学専攻	３名	９名
心理学研究科	心理学専攻	４名	12名

（中略）

旧

5　経営学研究科は修士課程とする。
6　社会福祉学研究科は博士課程とする。
7　地球環境科学研究科は博士課程とする。
8　心理学研究科は博士課程とする。

第５条　本大学院の収容定員は、次のとおりとする。

1　修士課程

研究科別	専攻別	入学定員	収容定員
文学研究科	仏教学専攻	10名	20名
	英米文学専攻	10名	20名
	社会学専攻	10名	20名
	史学専攻	10名	20名
	国文学専攻	10名	20名
	哲学専攻	６名	12名
経済学研究科	経済学専攻	10名	20名
法学研究科	法学専攻	10名	20名
経営学研究科	経営学専攻	10名	20名
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	６名	12名
	教育福祉学専攻	４名	８名
地球環境科学研究科	環境システム学専攻	10名	20名
	地理空間システム学専攻	８名	16名
心理学研究科	臨床心理学専攻	10名	20名
	応用心理学専攻	５名	10名
	対人・社会心理学専攻	５名	10名
地球環境科学研究科	環境システム学専攻	４名	12名
	地理空間システム学専攻	３名	９名
心理学研究科	心理学専攻	４名	12名

（中略）

新

第６条の２　本大学院各研究科各専攻別の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的ならびに修士課程・博士後期課程の開講科目単位数および履修方法は次の通りとする。

１　文学研究科

（１）　修士課程

（中略）

②　英米文学専攻

英文学、米文学、英語学、英語教育およびその関連諸分野において、専門的知識・能力、あるいは専門性を必要とする職業に必要な能力を身につけた人材を養成すること、ならびに、そのために必要な教育研究を行うことを、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的とする。

授業科目	選択必修	選択	備考
英米文学研究方法論１	2		修了要件 共通必修科目４単位、選択必修４科目８単位と、特殊研究14科目の中から英文学、米文学、英語学、英語教育学の４分野のうち３分野からそれぞれ１分野２科目、合計６科目12単位、演習20科目の中から４科目８単位以上を修得し、合計32単位以上を修得すること。かつ、修士論文を作成し、審査に合格すること。
英米文学研究方法論２	2		
英米文学研究方法論３	2		
英米文学研究方法論４	2		
英語学研究方法論１	2		
英語学研究方法論２	2		
英語学研究方法論３	2		
英語学研究方法論４	2		
英文学特殊研究１		2	
英文学特殊研究２		2	
英文学特殊研究３		2	

旧

第６条の２　本大学院各研究科各専攻別の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的ならびに修士課程・博士後期課程の開講科目単位数および履修方法は次の通りとする。

１　文学研究科

（１）　修士課程

（中略）

②　英米文学専攻

英文学、米文学、英語学、英語教育およびその関連諸分野において、専門的知識・能力、あるいは専門性を必要とする職業に必要な能力を身につけた人材を養成すること、ならびに、そのために必要な教育研究を行うことを、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的とする。

授業科目	選択必修	選択	備考
英米文学研究方法論１	2		修了要件 共通必修科目４単位、選択必修４科目８単位と、特殊研究16科目の中から英文学、米文学、英語学の３分野のそれぞれ１分野２科目、合計６科目12単位、演習16科目の中から４科目８単位以上を修得し、合計32単位以上を修得すること。かつ、修士論文を作成し、審査に合格すること。
英米文学研究方法論２	2		
英米文学研究方法論３	2		
英米文学研究方法論４	2		
英語学研究方法論１	2		
英語学研究方法論２	2		
英語学研究方法論３	2		
英語学研究方法論４	2		
英文学特殊研究１		2	
英文学特殊研究２		2	
英文学特殊研究３		2	

新			旧		
英文学特殊研究４		2	英文学特殊研究４		2
米文学特殊研究１		2	米文学特殊研究１		2
米文学特殊研究２		2	米文学特殊研究２		2
米文学特殊研究３		2	米文学特殊研究３		2
米文学特殊研究４		2	米文学特殊研究４		2
（削除）			米文学特殊研究５		2
（削除）			米文学特殊研究６		2
（削除）			米文学特殊研究７		2
（削除）			米文学特殊研究８		2
英語学特殊研究１		2	英語学特殊研究１		2
英語学特殊研究２		2	英語学特殊研究２		2
英語学特殊研究３		2	英語学特殊研究３		2
英語学特殊研究４		2	英語学特殊研究４		2
英語教育学特殊研究１		2	（新設）		
英語教育学特殊研究２		2	（新設）		
英文学演習１		2	英文学演習１		2
英文学演習２		2	英文学演習２		2
英文学演習３		2	英文学演習３		2
英文学演習４		2	英文学演習４		2
米文学演習１		2	米文学演習１		2
米文学演習２		2	米文学演習２		2
米文学演習３		2	米文学演習３		2
米文学演習４		2	米文学演習４		2
（削除）			米文学演習５		2
（削除）			米文学演習６		2
（削除）			米文学演習７		2
（削除）			米文学演習８		2
英語学演習１		2	英語学演習１		2
英語学演習２		2	英語学演習２		2
英語学演習３		2	英語学演習３		2

新			
英語学演習４		２	
シェイクスピア演習１		２	
シェイクスピア演習２		２	
アカデミック・ライティング演習１		２	
アカデミック・ライティング演習２		２	
アカデミック・ライティング演習３		２	
アカデミック・ライティング演習４		２	
英語教育学演習１		２	
英語教育学演習２		２	

（中略）

⑤　国文学専攻

日本語学、日本文学、琉球文学、漢文学およびその関連諸分野において、専門的知識・知見を身につけ社会的に貢献しうる人材を養成すること、ならびに、そのために必要な教育研究を行うことを、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的とする。

授業科目	必修	選択	備考
日本文学特講１		２	修了要件
日本文学特講２		２	共通必修科目４単位、特講８単位
日本文学特講３		２	以上、演習８単位以上を必修とし、
日本文学特講４		２	合計32単位以上を修得すること。かつ、修士論文を作成し、審査に合格すること。
日本文学特講５		２	
日本文学特講６		２	

旧			
英語学演習４		２	
シェイクスピア研究１		２	
シェイクスピア研究２		２	
アカデミック・ライティング１		２	
アカデミック・ライティング２		２	
アカデミック・ライティング３		２	
アカデミック・ライティング４		２	
（新設）			
（新設）			

（中略）

⑤　国文学専攻

日本語学、日本文学、琉球文学、漢文学およびその関連諸分野において、専門的知識・知見を身につけ社会的に貢献しうる人材を養成すること、ならびに、そのために必要な教育研究を行うことを、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的とする。

授業科目	必修	選択	備考
日本文学特講１		２	修了要件
日本文学特講２		２	共通必修科目４単位、特講８単位
日本文学特講３		２	以上、演習８単位以上を必修とし、
日本文学特講４		２	合計32単位以上を修得すること。かつ、修士論文を作成し、審査に合格すること。
日本文学特講５		２	
日本文学特講６		２	

新			旧		
日本文学特講７		2	日本文学特講７		2
日本文学特講８		2	日本文学特講８		2
琉球文学特講１		2	琉球文学特講１		2
琉球文学特講２		2	琉球文学特講２		2
漢文学特講１		2	漢文学特講１		2
漢文学特講２		2	漢文学特講２		2
日本語学特講１		2	日本語学特講１		2
日本語学特講２		2	日本語学特講２		2
（削除）			書字学特講１		2
（削除）			書字学特講２		2
日本文学演習１		2	日本文学演習１		2
日本文学演習２		2	日本文学演習２		2
日本文学演習３		2	日本文学演習３		2
日本文学演習４		2	日本文学演習４		2
日本文学演習５		2	日本文学演習５		2
日本文学演習６		2	日本文学演習６		2
日本文学演習７		2	日本文学演習７		2
日本文学演習８		2	日本文学演習８		2
琉球文学演習１		2	琉球文学演習１		2
琉球文学演習２		2	琉球文学演習２		2
漢文学演習１		2	漢文学演習１		2
漢文学演習２		2	漢文学演習２		2
日本語学演習１		2	日本語学演習１		2
日本語学演習２		2	日本語学演習２		2
漢字書道実習１		2	（新設）		
漢字書道実習２		2	（新設）		
（削除）			書字学演習１		2
（削除）			書字学演習２		2
仮名書道実習１		2	（新設）		
仮名書道実習２		2	（新設）		
文学史特殊研究１		2	文学史特殊研究１		2
文学史特殊研究２		2	文学史特殊研究２		2

新

口承文学特殊研究１		2	
口承文学特殊研究２		2	
言語文化特殊研究１		2	
言語文化特殊研究２		2	

（中略）

（２） 博士後期課程

（中略）

② 英米文学専攻

英文学、米文学、英語学、英語教育およびその関連諸分野の研究を生かして社会的ニーズに応えることのできる、高度にして専門的な知識・能力を備えた人材を養成すること、ならびに、そのために必要な教育研究を行うことを、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的とする。

授業科目	必修	選択	備考
英米文学研究方法論１		2	修了要件 ３年間にわたって指導教授の研究指導を受け、12単位以上を修得すること。かつ、博士論文を作成し、審査に合格すること。
英米文学研究方法論２		2	
英米文学研究方法論３		2	
英米文学研究方法論４		2	
英語学研究方法論１		2	
英語学研究方法論２		2	
英語学研究方法論３		2	
英語学研究方法論４		2	
英文学特殊研究１		2	
英文学特殊研究２		2	

旧

口承文学特殊研究１		2	
口承文学特殊研究２		2	
言語文化特殊研究１		2	
言語文化特殊研究２		2	

（中略）

（２） 博士後期課程

（中略）

② 英米文学専攻

英文学、米文学、英語学、英語教育およびその関連諸分野の研究を生かして社会的ニーズに応えることのできる、高度にして専門的な知識・能力を備えた人材を養成すること、ならびに、そのために必要な教育研究を行うことを、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的とする。

授業科目	必修	選択	備考
英米文学研究方法論１		2	修了要件 ３年間にわたって指導教授の研究指導を受け、12単位以上を修得すること。かつ、博士論文を作成し、審査に合格すること。
英米文学研究方法論２		2	
英米文学研究方法論３		2	
英米文学研究方法論４		2	
英語学研究方法論１		2	
英語学研究方法論２		2	
英語学研究方法論３		2	
英語学研究方法論４		2	
英文学特殊研究１		2	
英文学特殊研究２		2	

新			旧		
英文学特殊研究３		2	英文学特殊研究３		2
英文学特殊研究４		2	英文学特殊研究４		2
米文学特殊研究１		2	米文学特殊研究１		2
米文学特殊研究２		2	米文学特殊研究２		2
米文学特殊研究３		2	米文学特殊研究３		2
米文学特殊研究４		2	米文学特殊研究４		2
（削除）			米文学特殊研究５		2
（削除）			米文学特殊研究６		2
（削除）			米文学特殊研究７		2
（削除）			米文学特殊研究８		2
英語学特殊研究１		2	英語学特殊研究１		2
英語学特殊研究２		2	英語学特殊研究２		2
英語学特殊研究３		2	英語学特殊研究３		2
英語学特殊研究４		2	英語学特殊研究４		2
英語教育学特殊研究１		2	（新設）		
英語教育学特殊研究２		2	（新設）		
英文学演習１		2	英文学演習１		2
英文学演習２		2	英文学演習２		2
英文学演習３		2	英文学演習３		2
英文学演習４		2	英文学演習４		2
米文学演習１		2	米文学演習１		2
米文学演習２		2	米文学演習２		2
米文学演習３		2	米文学演習３		2
米文学演習４		2	米文学演習４		2
（削除）			米文学演習５		2
（削除）			米文学演習６		2
（削除）			米文学演習７		2
（削除）			米文学演習８		2
英語学演習１		2	英語学演習１		2
英語学演習２		2	英語学演習２		2

新			
英語学演習３		２	
英語学演習４		２	
シェイクスピア演習１		２	
シェイクスピア演習２		２	
アカデミック・ライティング演習１		２	
アカデミック・ライティング演習２		２	
アカデミック・ライティング演習３		２	
アカデミック・ライティング演習４		２	
英語教育学演習１		２	
英語教育学演習２		２	

（中略）

７　心理学研究科

心理学研究科は、心理学の基礎知識・技能を基に、これをさらに発展させ、建学の精神を身につけて時代の変化に即応できる柔軟な思考と能力をもつ自立的な研究者・高度な職業専門人を養成することおよびそのために必要な教育研究を行うことを、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的とする。

（１）　修士課程

心理学研究科修士課程では、臨床心理学、または対人・社会心理学分野の高度な専門的知識と技能に基づき、研究・実践上の倫理に配慮し、社会の多様なニーズに応えることができる、高度な職業専門人・研究者を養成することおよびそのために必要な教育研究を行うことを、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的とする。

（中略）

旧			
英語学演習３		２	
英語学演習４		２	
シェイクスピア研究１		２	
シェイクスピア研究２		２	
アカデミック・ライティング１		２	
アカデミック・ライティング２		２	
アカデミック・ライティング３		２	
アカデミック・ライティング４		２	
（新設）			
（新設）			

（中略）

７　心理学研究科

心理学研究科は、心理学の基礎知識・技能を基に、これをさらに発展させ、建学の精神を身につけて時代の変化に即応できる柔軟な思考と能力をもつ自立的な研究者・高度な職業専門人を養成することおよびそのために必要な教育研究を行うことを、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的とする。

（１）　修士課程

心理学研究科修士課程では、臨床心理学、応用心理学、または対人・社会心理学分野の高度な専門的知識と技能に基づき、研究・実践上の倫理に配慮し、社会の多様なニーズに応えることができる、高度な職業専門人・研究者を養成することおよびそのために必要な教育研究を行うことを、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的とする。

（中略）

新	旧
（削除）	②　応用心理学専攻 高度の心理学または教育学的知識に基づく教育・研究の推進により社会に有為な人材を育成する。

授業科目	必修	選択	備考
選択必修科目			修了要件 選択必修科目から８単位以上、選択科目から16単位以上、合計30単位以上を取得し、かつ修士論文を提出し、審査に合格すること。
行動心理学演習Ⅰ		2	
行動心理学演習Ⅱ		2	
行動心理学演習Ⅲ		2	
行動心理学演習Ⅳ		2	
認知心理学演習Ⅰ		2	
認知心理学演習Ⅱ		2	
認知心理学演習Ⅲ		2	
認知心理学演習Ⅳ		2	
教育心理学演習Ⅰ		2	
教育心理学演習Ⅱ		2	
教育心理学演習Ⅲ		2	
教育心理学演習Ⅳ		2	
教育学演習Ⅰ		2	
教育学演習Ⅱ		2	
教育学演習Ⅲ		2	
教育学演習Ⅳ		2	
教育法学演習Ⅰ		2	
教育法学演習Ⅱ		2	
教育法学演習Ⅲ		2	
教育法学演習Ⅳ		2	
教育方法学演習Ⅰ		2	
教育方法学演習Ⅱ		2	
教育方法学演習Ⅲ		2	
教育方法学演習Ⅳ		2	

新	旧				
	感性心理学演習Ⅰ		2		
	感性心理学演習Ⅱ		2		
	感性心理学演習Ⅲ		2		
	感性心理学演習Ⅳ		2		
	生涯教育演習Ⅰ		2		
	生涯教育演習Ⅱ		2		
	生涯教育演習Ⅲ		2		
	生涯教育演習Ⅳ		2		
	選択科目				
	認知心理学特論Ⅰ		2		
	認知心理学特論Ⅱ		2		
	認知心理学特論Ⅲ		2		
	認知心理学特論Ⅳ		2		
	学習心理学特論Ⅰ		2		
	学習心理学特論Ⅱ		2		
	学習心理学特論Ⅲ		2		
	学習心理学特論Ⅳ		2		
	産業心理学特論Ⅰ		2		
	産業心理学特論Ⅱ		2		
	産業心理学特論Ⅲ		2		
	産業心理学特論Ⅳ		2		
	心理学研究法特論Ⅰ		2		
	心理学研究法特論Ⅱ		2		
	心理学研究法特論Ⅲ		2		
	心理学研究法特論Ⅳ		2		
	行動科学特論Ⅰ		2		
	行動科学特論Ⅱ		2		
	行動科学特論Ⅲ		2		
	行動科学特論Ⅳ		2		
	生理心理学特論Ⅰ		2		
	生理心理学特論Ⅱ		2		
	生涯教育特論Ⅰ		2		

新	旧				
		生涯教育特論Ⅱ		2	
		生涯教育特論Ⅲ		2	
		生涯教育特論Ⅳ		2	
		教育方法学特論Ⅰ		2	
		教育方法学特論Ⅱ		2	
		教育方法学特論Ⅲ		2	
		教育方法学特論Ⅳ		2	
		教育学特論Ⅰ		2	
		教育学特論Ⅱ		2	
		教育学特論Ⅲ		2	
		教育学特論Ⅳ		2	
		教育法学特論Ⅰ		2	
		教育法学特論Ⅱ		2	
		教育法学特論Ⅲ		2	
		教育法学特論Ⅳ		2	
		教育心理学特論Ⅰ		2	
		教育心理学特論Ⅱ		2	
		教育心理学特論Ⅲ		2	
		教育心理学特論Ⅳ		2	
		心理学基礎文献研究Ⅰ		2	
		心理学基礎文献研究Ⅱ		2	
		心理学基礎文献研究Ⅲ		2	
		心理学基礎文献研究Ⅳ		2	
		感性心理学特論Ⅰ		2	
		感性心理学特論Ⅱ		2	
		感性心理学特論Ⅲ		2	
		感性心理学特論Ⅳ		2	
		高齢者心理学特論Ⅰ		2	
		高齢者心理学特論Ⅱ		2	
		高齢者心理学特論Ⅲ		2	
		高齢者心理学特論Ⅳ		2	
		ジェンダー学特論Ⅰ		2	

<table>
<tr><th>新</th><th>旧</th></tr>
<tr><td>②　対人・社会心理学専攻
　対人・社会心理学に関する専門的な知識・技能を基に、実社会に貢献できる高度な専門職業人を育成する。

（中略）

第６条の３　次の研究科では、夜間その他特定の時間または時期において授業または研究指導を行うことができる。
文学研究科　仏教学専攻　修士課程
英米文学専攻　修士課程
社会学専攻　修士課程
史学専攻　修士課程
国文学専攻　修士課程
哲学専攻　修士課程
経済学研究科　経済学専攻　修士課程および博士後期課程
法学研究科　法学専攻　修士課程
経営学研究科　経営学専攻　修士課程
社会福祉学研究科　社会福祉学専攻　修士課程および博士後期課程
教育福祉学専攻　修士課程
地球環境科学　環境システム学専攻　修士課程および博士</td>
<td>
<table>
<tr><td>ジェンダー学特論Ⅱ</td><td></td><td>2</td><td></td></tr>
<tr><td>健康心理学特論Ⅰ</td><td></td><td>2</td><td></td></tr>
<tr><td>健康心理学特論Ⅱ</td><td></td><td>2</td><td></td></tr>
<tr><td>モチベーション心理学特論Ⅰ</td><td></td><td>2</td><td></td></tr>
<tr><td>モチベーション心理学特論Ⅱ</td><td></td><td>2</td><td></td></tr>
<tr><td>発達心理学特論Ⅰ</td><td></td><td>2</td><td></td></tr>
<tr><td>発達心理学特論Ⅱ</td><td></td><td>2</td><td></td></tr>
<tr><td>性格心理学特論Ⅰ</td><td></td><td>2</td><td></td></tr>
<tr><td>性格心理学特論Ⅱ</td><td></td><td>2</td><td></td></tr>
<tr><td>尺度構成法特論Ⅰ</td><td></td><td>2</td><td></td></tr>
<tr><td>尺度構成法特論Ⅱ</td><td></td><td>2</td><td></td></tr>
</table>
③　対人・社会心理学専攻
　対人・社会心理学に関する専門的な知識・技能を基に、実社会に貢献できる高度な専門職業人を育成する。

（中略）

第６条の３　次の研究科では、夜間その他特定の時間または時期において授業または研究指導を行うことができる。
文学研究科　仏教学専攻　修士課程
英米文学専攻　修士課程
社会学専攻　修士課程
史学専攻　修士課程
国文学専攻　修士課程
哲学専攻　修士課程
経済学研究科　経済学専攻　修士課程および博士後期課程
法学研究科　法学専攻　修士課程
経営学研究科　経営学専攻　修士課程
社会福祉学研究科　社会福祉学専攻　修士課程および博士後期課程
教育福祉学専攻　修士課程
地球環境科学　環境システム学専攻　修士課程および博士</td>
</tr>
</table>

新

研究科		後期課程
	地理空間システム学専攻	修士課程および博士後期課程
心理学研究科	臨床心理学専攻	修士課程
	（削除）	（削除）
	対人･社会心理学専攻	修士課程
	心理学専攻	博士後期課程

（中略）

第９条の２　教員の免許状授与の所要資格を取得しようとする者は、第９条に定めるほか教育職員免許法および教育職員免許法施行規則に定める所要の単位を修得しなければならない。

２　研究科の各専攻において当該所要資格を取得できる教員の免許状の種類は次の表に掲げるとおりとする。

研究科・専攻		高等学校教諭専修免許状	中学校教諭専修免許状
		教科	教科
文学研究科	仏教学専攻	宗教・公民	宗教・社会
	英米文学専攻	英語	英語
	社会学専攻	公民	社会
	史学専攻	地理歴史	社会
	国文学専攻	国語・書道	国語
	哲学専攻	公民	社会
経済学研究科	経済学専攻	公民	社会
法学研究科	法学専攻	公民	社会
経営学研究科	経営学専攻	商業	
地球環境科学研究科	環境システム学専攻	理科・情報	理科
	地理空間システム学専攻	地理歴史	社会
心理学研究科	臨床心理学専	公民	

旧

研究科		後期課程
	地理空間システム学専攻	修士課程および博士後期課程
心理学研究科	臨床心理学専攻	修士課程
	応用心理学専攻	修士課程
	対人･社会心理学専攻	修士課程
	心理学専攻	博士後期課程

（中略）

第９条の２　教員の免許状授与の所要資格を取得しようとする者は、第９条に定めるほか教育職員免許法および教育職員免許法施行規則に定める所要の単位を修得しなければならない。

２　研究科の各専攻において当該所要資格を取得できる教員の免許状の種類は次の表に掲げるとおりとする。

研究科・専攻		高等学校教諭専修免許状	中学校教諭専修免許状
		教科	教科
文学研究科	仏教学専攻	宗教・公民	宗教・社会
	英米文学専攻	英語	英語
	社会学専攻	公民	社会
	史学専攻	地理歴史	社会
	国文学専攻	国語・書道	国語
	哲学専攻	公民	社会
経済学研究科	経済学専攻	公民	社会
法学研究科	法学専攻	公民	社会
経営学研究科	経営学専攻	商業	
地球環境科学研究科	環境システム学専攻	理科・情報	理科
	地理空間システム学専攻	地理歴史	社会
心理学研究科	臨床心理学専	公民	

新

	攻		
	（削除）	（削除）	（削除）

研究科・専攻		免許状の種類
社会福祉学研究科	教育福祉学専攻	幼稚園教諭専修免許状　小学校教諭専修免許状

（中略）

第３章　試験・論文審査・学位授与

第11条　大学において授与する学位は、次の区分による。

研究科	専攻	修士課程	博士課程
文学研究科	仏教学専攻	修士（文学）	博士（文学）
	英米文学専攻	修士（文学）	博士（文学）
	社会学専攻	修士（社会学）	博士（社会学）
	史学専攻	修士（文学）	博士（文学）
	国文学専攻	修士（文学）	博士（文学）
	哲学専攻	修士（文学）	博士（文学）
経済学研究科	経済学専攻	修士（経済学）	博士（経済学）
法学研究科	法学専攻	修士（法学）	
経営学研究科	経営学専攻	修士（経営学）	
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	修士（社会福祉学）	博士（社会福祉学）
	教育福祉学専攻	修士（教育福祉学）	
地球環境科学研究科	環境システム学専攻	修士（理学）	博士（理学）
	地理空間システム学専攻	修士（地理学）	博士（地理学）
心理学研究科	臨床心理学専攻	修士（心理学）	
	（削除）	（削除）	
	対人・社会心理学専	修士（心理学）	

旧

	攻		
	応用心理学専攻	公民	社会

研究科・専攻		免許状の種類
社会福祉学研究科	教育福祉学専攻	幼稚園教諭専修免許状　小学校教諭専修免許状

（中略）

第３章　試験・論文審査・学位授与

第11条　大学において授与する学位は、次の区分による。

研究科	専攻	修士課程	博士課程
文学研究科	仏教学専攻	修士（文学）	博士（文学）
	英米文学専攻	修士（文学）	博士（文学）
	社会学専攻	修士（社会学）	博士（社会学）
	史学専攻	修士（文学）	博士（文学）
	国文学専攻	修士（文学）	博士（文学）
	哲学専攻	修士（文学）	博士（文学）
経済学研究科	経済学専攻	修士（経済学）	博士（経済学）
法学研究科	法学専攻	修士（法学）	
経営学研究科	経営学専攻	修士（経営学）	
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	修士（社会福祉学）	博士（社会福祉学）
	教育福祉学専攻	修士（教育福祉学）	
地球環境科学研究科	環境システム学専攻	修士（理学）	博士（理学）
	地理空間システム学専攻	修士（地理学）	博士（地理学）
心理学研究科	臨床心理学専攻	修士（心理学）	
	応用心理学専攻	修士（心理学）	
	対人・社会心理学専	修士（心理学）	

新

	攻 心理学専攻		博士（心理学）

（中略）

附　則

本学則は昭和25年４月５日から施行する。

（中略）

令和５年10月25日改正、令和６年４月１日施行

令和５年11月29日改正、令和６年４月１日施行

令和５年12月25日改正、令和６年４月１日施行

ただし、令和５年度までに入学した心理学研究科応用心理学専攻の学生については、従前の学則を適用する。

（中略）

別表第２

種別	適用研究科	入学年度	金額
入学金	全研究科	令和６年度	250,000円
授業料	全研究科	平成29年度以降	563,000円
施設設備資金	全研究科	平成29年度以降	120,000円
教育充実費	文学・経営学研究科	平成29年度以降	3,000円
	経済学研究科	令和元年度以降	30,000円
	法学研究科	令和４年度	3,000円
		令和５年度以降	15,000円
	社会福祉学研究科	平成30年度以降	35,000円
	地球環境科学研究科		
	環境システム学専攻	令和３年度以降	5,000円

旧

	攻 心理学専攻		博士（心理学）

（中略）

附　則

本学則は昭和25年４月５日から施行する。

（中略）

（中略）

別表第２

種別	入学年度	金額	適用研究科
入学金	令和５年度	250,000円	全研究科
授業料	平成26年度以降	563,000円	全研究科
施設設備資金	平成26年度以降	120,000円	全研究科
教育充実費	平成29年度以降	3,000円	文学・経営学研究科
	平成29年度	3,000円	経済学研究科
	令和元年度以降	30,000円	経済学研究科
	令和２～４年度	3,000円	法学研究科
	令和５年度	15,000円	法学研究科
	平成26年度以降	35,000円	社会福祉学研究科
	令和元年度以降	35,000円	地球環境科学研究科
			地理空間システム学専攻

新					旧				
		地球環境科学研究科 地理空間システム学専攻	令和２年度以降	35,000円			平成29年度以降	5,000円	地球環境科学研究科 環境システム学専攻
		心理学研究科	令和元年度 令和２年度以降	70,000円 100,000円			令和元年度 令和２年度以降	70,000円 100,000円	心理学研究科 心理学研究科
	実験実習料	地球環境科学研究科 環境システム学専攻	令和３年度以降	170,000円		実験実習料	令和元年度以降	60,000円	地球環境科学研究科 地理空間システム学専攻
		地球環境科学研究科 地理空間システム学専攻	令和２年度以降	60,000円			平成29年度以降	170,000円	地球環境科学研究科 環境システム学専攻

備考

1　上記の表における授業料・施設設備資金・教育充実費および実験実習料については、その在学期間中毎学年度徴収する。

2　大学院学則第３条第１項および第９条第１項に基づくものの学費等は、これを別に定める。

（後略）

学則変更の趣旨等を記載した書類

目次

ア　学則変更（収容定員変更）の内容
イ　学則変更（収容定員変更）の必要性
ウ　学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程の変更内容
エ　２以上の校地において教育研究を行う場合の具体的計画
オ　大学設置基準第２５条の４の規程に基づき授業の一部をサテライトキャンパス等の校舎以外の場所で行う場合の具体的計画

ア　学則変更（収容定員変更）の内容

立正大学大学院心理学研究科応用心理学専攻（修士課程）は、令和６年度から学生募集を停止したため、大学院全体の収容定員（入学定員）を、以下のとおり変更する。

研究科	課程	専攻	変更前		変更後	
			入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
文学研究科	修士課程	仏教学専攻	10	20	10	20
		英米文学専攻	10	20	10	20
		社会学専攻	10	20	10	20
		史学専攻	10	20	10	20
		国文学専攻	10	20	10	20
		哲学専攻	6	12	6	12
	博士後期課程	仏教学専攻	3	9	3	9
		英米文学専攻	2	6	2	6
		社会学専攻	2	6	2	6
		史学専攻	4	12	4	12
		国文学専攻	3	9	3	9
		哲学専攻	3	9	3	9
経済学研究科	修士課程	経済学専攻	10	20	10	20
	博士後期課程	経済学専攻	6	18	6	18
法学研究科	修士課程	法学専攻	10	20	10	20
経営学研究科	修士課程	経営学専攻	10	20	10	20
社会福祉学研究科	修士課程	社会福祉学専攻	6	12	6	12
		教育福祉学専攻	4	8	4	8
	博士後期課程	社会福祉学専攻	3	9	3	9
地球環境科学研究科	修士課程	環境システム学専攻	10	20	10	20
		地理空間システム学専攻	8	16	8	16
	博士後期課程	環境システム学専攻	4	12	4	12
		地理空間システム学専攻	3	9	3	9
心理学研究科	修士課程	臨床心理学専攻	10	20	10	20
		応用心理学専攻	5	10	0	0
		対人・社会心理学専攻	5	10	5	10
	博士後期課程	心理学専攻	4	12	4	12
計			171	379	166	369

イ　学則変更（収容定員変更）の必要性

現在、基礎となる心理学部は、臨床心理学科、対人・社会心理学科の２学科で構成されている。これに対して、大学院心理学研究科は、臨床心理学専攻、応用心理学専攻、対人・社会心理学専攻の３専攻で構成されている。上記状況に対し、今後の在り方について検討を行った結果、今後も応用心理学専攻への受験者・入学者の増加は見込めないことと、学部２学科・研究科２専攻体制に再編することが、教育研究組織としての学部との不整合を解消することにつながることから、応用心理学専攻の学生を募集停止し、収容定員の変更を行う。なお、今回の学生募集停止に伴う応用心理学専攻の収容定員変更（減少）分については、応用心理学専攻に在籍する学生の修了後に、臨床心理学専攻への収容定員増加として改めて届出を行う予定である。

ウ　学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程の変更内容

心理学研究科応用心理学専攻は、在校生が修了するのを待って廃止する予定であり、教育課程の変更は該当しない。廃止するまでの間の在校生への教育条件の維持には、万全を尽くすこととする。

エ　２以上の校地において教育研究を行う場合の具体的計画

学生募集を停止するものであるため該当なし。

オ　大学設置基準第２５条の４の規程に基づき授業の一部をサテライトキャンパス等の校舎以外の場所で行う場合の具体的計画

学生募集を停止するものであるため該当なし。

学生の確保の見通し等を記載した書類

（1）学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

学生募集を停止するものであるため該当なし

（2）人材需要の動向等社会の要請

学生募集を停止するものであるため該当なし

別記様式第３号（その１）

教　　員　　名　　簿

学　長　の　氏　名　等						
調書番号	役職名	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給（千円）	現　職 （就任年月）
－	学長	テラオ　エイチ 寺尾　英智 ＜令和4年4月＞		博士 （文学）		立正大学長 （令和4.4～令和7.3）